

第22期第18回 松浦海区漁業調整委員会

日時 令和4年11月24日（木）15時～
場所 高等水産講習所 2階集合研修室
（唐津市唐房6-4948-23）

次 第

1 開 会

2 議 題

- | | |
|-------------------------------------------------------------|------------|
| （1） 玄海における漁業許可方針（案）について（諮問） | P2 ～ P82 |
| （2） 漁業法第90条第2項に基づく資源管理の状況等の報告及び
漁業法第91条第1項に基づく指導について（諮問） | P83 ～ P91 |
| （3） 呼子町統括支所におけるコンブ試験養殖について（協議） | P92 ～ P102 |
| （4） 松浦海区漁業調整委員会指示80号の適用除外について（協議） | P103～ P108 |
| （5） その他 | |

水産第3358号
令和4年11月14日

松浦海区漁業調整委員会
会長 川寄 和正 様

佐賀県知事 山口 祥 様

玄海における漁業許可方針について(諮問)

令和4年12月31日をもって許可期間が満了する下記漁業の許可更新にあたり、別案のとおり許可方針を定めたいので、佐賀県漁業調整規則第11条第3項および第5項の規定により、貴委員会の意見を求めます。

記

- 1 小型機船底びき網漁業(いか巣びき・なまこけた・あかがいけた)
- 2 機船船びき網漁業(いわし1そう・いわし2そう・かなぎ1そう・さより2そう・とびうお2そう・雑魚1そう・あず1そう)
- 3 刺網漁業(きす一重流し・このしろ一重流し・やず罎・雑魚固定式)
- 4 地びき網漁業(地びき)
- 5 かご漁業(いかかご・ばいかご・かにかご・ぼらかご・ふぐかご)
- 6 たこつぼ漁業(たこつぼ)

(担当:農林水産部水産課漁業調整担当)

小型機船底びき網漁業

手繰第1種 いか巣びき網漁業

現行許可方針	更新許可方針（案）
<p>1 操業区域</p> <p>①佐賀、福岡両県県境（包石）と唐津市相賀崎北東端を結んだ直線以南の海域 （関係地区：満島を除く旧唐津市）</p> <p>②所属する漁業協同組合が保有する共同漁業権漁場内。 ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、所属する支所に関する共同漁業権漁場内に限る。 （関係地区：唐津市満島、旧肥前町）</p> <p>2 操業期間 2月1日から6月30日まで</p> <p>3 許可の有効期間 3年以内</p> <p>4 許可統数 5統以内</p> <p>5 制限又は条件</p> <p>(1)共同漁業権漁場内で操業する場合は、漁業権者と協議し、協議が成立しなければ操業してはならない。（1の①の操業区域の場合に限る。）</p> <p>(2)十分な社会的信用を有しない者への許可は認めない。</p>	<p>第1 制限措置</p> <p>1 漁業種類 いか巣びき網漁業</p> <p>2 許可又は起業の認可をすべき船舶の数 5隻</p> <p>3 船舶の総トン数 制限なし</p> <p>4 推進機関の馬力数 制限なし</p> <p>5 操業区域 佐賀県玄海海域</p> <p>6 漁業時期 2月1日から6月30日まで</p> <p>7 漁業を営む者の資格</p> <p>(1)旧唐津市又は旧肥前町のいずれかの地区において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者。又は、上記以外の地区において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者のうち、松浦海区漁業調整委員会に諮り、漁業調整上支障がないと認められた者。</p> <p>(2)佐賀県の漁船原簿に登録されている船舶を使用する権利を有する者</p> <p>(3)佐賀県漁業調整規則（令和2年佐賀県規則第63号。以下「規則」という。）第10条第1項各号のいずれにも該当しな</p>

	<p>い者</p> <p>(4) 適切な資源管理を实践できる者</p> <p>(5) 漁業の生産力の向上に努めようとする者</p> <p>第2 許可の有効期間</p> <p>令和5年1月1日から令和9年12月31日まで</p> <p>第3 申請すべき期間</p> <p>1 申請すべき期間(以下「申請期間」という。)は、<u>令和4年12月1日から令和4年12月15日まで</u>とする。</p> <p>2 申請期間に到着し、受付けた申請の数(以下「受付数」という。)が、<u>5件</u>に到達しないときは、申請期間の最終日の次の開庁日を新たな申請期間として追加する。</p> <p>3 令和4年12月15日までの期間において、受付数と申請期間の最終日時点で有効な許可又は起業の認可を受けている船舶の数を足した数(以下「合計数」という。)が5件に到達するまでは、最後に追加した申請期間の次の開庁日を更に新たな申請期間として追加することを繰り返す。ただし、最後に追加した申請期間より前の申請期間に受付けたもののうち、許可、起業の認可若しくは不許可の処分又は申請の取下げをしたものについては、これを受付数から除く。</p> <p>4 合計数が5件に到達した日以降から令和9</p>
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

年4月10日までの期間において、廃業等の事由により残枠が生じた場合は、新たな申請期間を追加する。申請期間は、規則第11条第1項に基づく公示をした日から10日間とする。ただし、10日後が閉庁日のときは、その次の開庁日までを申請期間とする。また、これ以降の申請期間の取扱いは、上記3に同じ。

第4 許可の基準

合計数が5件を超える場合は、最後に設定した申請期間に受付けた者を次に掲げる優先順位により許可又は起業の認可をする者を定める。ただし、同順位である者相互間の優先順位は抽選による。なお、規則第9条第1項第2号に該当する場合は、この限りでない。また、各順位の基準日は該当する申請期間の始期の前日とする。

- (1) 基準日において従前の当該漁業の許可を有していた者。ただし、当該順位の適用は、令和4年12月15日までに受付けた申請、かつ、有していた許可件数の範囲までとする。
- (2) 基準日において当該漁業の許可を有していた者から許可を承継し、許可を有していた船舶と同じ船舶にて当該漁業を営もうとする者。(従前の当該漁業の許可を有していた者が、この許可方針に基づく更新申請を行わないことに伴い許可を承継する場合を含む。)ただし、当該順位の適用は、許可を承継する者が、許可を譲渡する者と2親等以内の親族で

	<p>ある場合に限る。</p> <p>(3) 基準日から過去5年間において当該漁業の許可（従前の許可を含む。）を有していたことがある者</p> <p>(4) 基準日において当該漁業以外の漁業の許可を有していた者</p> <p>(5) 上記（1）から（4）に該当しない者</p> <p>第5 条件</p> <p>1 満島地区を除く旧唐津市地区において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者は、佐賀、福岡両県県境（包石）と唐津市相賀崎北東端を結んだ直線以南の海域以外の海域及び共同漁業権漁場で操業してはならない。</p> <p>ただし、共同漁業権漁場において、事前に共同漁業権者と協議し、同意を得られた場合はこの限りでなく、その際は同意書の写しを操業時に携帯しなければならない。</p> <p>2 満島地区、旧肥前町を根拠地において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者は、所属する漁業協同組合が保有する共同漁業権漁場以外では操業してはならない。ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、所属する支所に関する共同漁業権漁場内に限る。</p>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

小型機船底びき網漁業

手続第3種 なまこけた網漁業

現行許可方針	更新許可方針（案）
<p>1 操業区域</p> <p>所属する漁業協同組合が保有する共同漁業権漁場内。</p> <p>ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、所属する支所に関する共同漁業権漁場内に限る。</p> <p>2 操業期間</p> <p>12月1日から翌年3月31日まで</p> <p>3 許可の有効期間</p> <p>3年以内</p> <p>4 制限又は条件</p> <p>(1) 最大低潮時水深5メートル以浅の海域で操業してはならない。</p> <p>(2) ナマコ以外を目的として操業してはならない。</p> <p>(3) 十分な社会的信用を有しない者への許可は認めない。</p>	<p>第1 制限措置</p> <p>1 漁業種類</p> <p>なまこけた網漁業</p> <p>2 許可又は起業の認可をすべき船舶の数</p> <p><u>95隻</u></p> <p>3 船舶の総トン数</p> <p>制限なし</p> <p>4 推進機関の馬力数</p> <p>制限なし</p> <p>5 操業区域</p> <p>佐賀県玄海海域</p> <p>6 漁業時期</p> <p>12月1日から翌年3月31日まで</p> <p>7 漁業を営む者の資格</p> <p>(1) 佐賀県において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者</p> <p>(2) 佐賀県の漁船原簿に登録されている船舶を使用する権利を有する者</p> <p>(3) 佐賀県漁業調整規則（令和2年佐賀県規則第63号。以下「規則」という。）第10条第1項各号のいずれにも該当しない者</p> <p>(4) 適切な資源管理を実践できる者</p> <p>(5) 漁業の生産力の向上に努めようとする者</p> <p>第2 許可の有効期間</p> <p>令和5年1月1日から令和9年12月31日まで</p> <p>第3 申請すべき期間</p> <p>1 申請すべき期間（以下「申請期間」という。）は、<u>令和4年12月1日から令和4年12月15日まで</u>とする。</p> <p>2 申請期間に到着し、受付けた申請の数（以</p>

下「受付数」という。)が、95件に到達しないときは、申請期間の最終日の次の開庁日を新たな申請期間として追加する。

3 令和4年12月15日までの期間において、受付数と申請期間の最終日時点で有効な許可又は起業の認可を受けている船舶の数を足した数(以下「合計数」という。)が95件に到達するまでは、最後に追加した申請期間の次の開庁日を更に新たな申請期間として追加することを繰り返す。ただし、最後に追加した申請期間より前の申請期間に受付けたもののうち、許可、起業の認可若しくは不許可の処分又は申請の取下げをしたものについては、これを受付数から除く。

4 合計数が95件に到達した日以降から令和9年11月10日までの期間において、廃業等の事由により残枠が生じた場合は、新たな申請期間を追加する。申請期間は、規則第11条第1項に基づく公示をした日から10日間とする。ただし、10日後が開庁日のときは、その次の開庁日までを申請期間とする。また、これ以降の申請期間の取扱いは、上記3に同じ。

第4 許可の基準

合計数が95件を超える場合は、最後に設定した申請期間に受付けた者を次に掲げる優先順位により許可又は起業の認可をする者を定める。ただし、同順位である者相互間の優先順位は抽選による。なお、規則第9条第1項第2号に該当する場合は、この限りでない。また、各順位の基準日は該当する申請期間の始期の前日とする。

(1) 基準日において従前の当該漁業の許可を有していた者。ただし、当該順位の適用は、令和4年12月15日までに受付けた申

	<p>請、かつ、有していた許可件数の範囲までとする。</p> <p>(2) 基準日において当該漁業の許可を有していた者から許可を承継し、許可を有していた船舶と同じ船舶にて当該漁業を営もうとする者。(従前の当該漁業の許可を有していた者が、この許可方針に基づく更新申請を行わないことに伴い許可を承継する場合を含む。)ただし、当該順位の適用は、許可を承継する者が、許可を譲渡する者と2親等以内の親族である場合に限る。</p> <p>(3) 基準日から過去5年間において当該漁業の許可(従前の許可を含む。)を有していたことがある者</p> <p>(4) 基準日において当該漁業以外の漁業の許可を有していた者</p> <p>(5) 上記(1)から(4)に該当しない者</p> <p>第5 条件</p> <p>1 操業区域は、所属する漁業協同組合が保有する共同漁業権漁場内に限る。ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、所属する支所に関する共同漁業権漁場内。</p> <p>2 最大低潮時水深5メートル以浅の海域で操業してはならない。</p> <p>3 ナマコ以外を目的として操業してはならない</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

小型機船底びき網漁業

手繰第3種 あかがいけた網漁業

現行許可方針	更新許可方針（案）
<p>1 操 業 区 域</p> <p>所属する漁業協同組合が保有する共同漁業権漁場内。</p> <p>ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、所属する支所に関する共同漁業権漁場内に限る。</p> <p>2 操 業 期 間</p> <p>7月21日から翌年6月10日まで</p> <p>3 許可の有効期間</p> <p>3年以内</p> <p>4 制限又は条件</p> <p>(1) アカガイ以外を目的として操業してはならない。</p> <p>(2) 十分な社会的信用を有しない者への許可は認めない</p>	<p>第1 制限措置</p> <p>1 漁業種類</p> <p>あかがいけた網漁業</p> <p>2 許可又は起業の認可をすべき船舶の数</p> <p style="text-align: center;"><u>10隻</u></p> <p>3 船舶の総トン数</p> <p>制限なし</p> <p>4 推進機関の馬力数</p> <p>制限なし</p> <p>5 操業区域</p> <p>佐賀県玄海海域</p> <p>6 漁業時期</p> <p>7月21日から翌年6月10日まで</p> <p>7 漁業を営む者の資格</p> <p>(1) 佐賀県において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者</p> <p>(2) 佐賀県の漁船原簿に登録されている船舶を使用する権利を有する者</p> <p>(3) 佐賀県漁業調整規則（令和2年佐賀県規則第63号。以下「規則」という。）第10条第1項各号のいずれにも該当しない者</p> <p>(4) 適切な資源管理を実践できる者</p> <p>(5) 漁業の生産力の向上に努めようとする者</p> <p>第2 許可の有効期間</p> <p>令和5年1月1日から令和9年12月31日まで</p> <p>第3 申請すべき期間</p> <p>1 申請すべき期間（以下「申請期間」と</p>

いう。)は、令和4年12月1日から令和4年12月15日までとする。

2 申請期間に到着し、受付けた申請の数(以下「受付数」という。)が、10件に到達しないときは、申請期間の最終日の次の開庁日を新たな申請期間として追加する。

3 令和4年12月15日までの期間において、受付数と申請期間の最終日時点で有効な許可又は起業の認可を受けている船舶の数を足した数(以下「合計数」という。)が10件に到達するまでは、最後に追加した申請期間の次の開庁日を更に新たな申請期間として追加することを繰り返す。ただし、最後に追加した申請期間より前の申請期間に受付けたもののうち、許可、起業の認可若しくは不許可の処分又は申請の取下げをしたものについては、これを受付数から除く。

4 合計数が10件に到達した日以降から令和9年11月10日までの期間において、廃業等の事由により残枠が生じた場合は、新たな申請期間を追加する。申請期間は、規則第11条第1項に基づく公示をした日から10日間とする。ただし、10日後が閉庁日のときは、その次の開庁日までを申請期間とする。また、これ以降の申請期間の取扱いは、上記3に同じ。

第4 許可の基準

合計数が10件を超える場合は、最後に設定した申請期間に受付けた者を次に掲げる優先順位により許可又は起業の認可をする者を定める。ただし、同順位である者相互間の優先順位は抽選による。なお、規則第9条第1項第2号に該当する場合

は、この限りでない。また、各順位の基準日は該当する申請期間の始期の前日とする。

(1) 基準日において従前の当該漁業の許可を有していた者。ただし、当該順位の適用は、令和4年12月15日までに受付けた申請、かつ、有していた許可件数の範囲までとする。

(2) 基準日において当該漁業の許可を有していた者から許可を承継し、許可を有していた船舶と同じ船舶にて当該漁業を営もうとする者。(従前の当該漁業の許可を有していた者が、この許可方針に基づく更新申請を行わないことに伴い許可を承継する場合を含む。)ただし、当該順位の適用は、許可を承継する者が、許可を譲渡する者と2親等以内の親族である場合に限る。

(3) 基準日から過去5年間において当該漁業の許可(従前の許可を含む。)を有していたことがある者

(4) 基準日において当該漁業以外の漁業の許可を有していた者

(5) 上記(1)から(4)に該当しない者

第5 条件

1 操業区域は、所属する漁業協同組合が保有する共同漁業権漁場内。ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、所属する支所に関する共同漁業権漁場内に限る。

2 アカガイ以外を目的として操業してはならない

機 船 船 び き 網 漁 業

いわし1そう船びき網漁業

現行許可方針	更新許可方針（案）
<p>1 操 業 区 域</p> <p>① 佐賀、福岡両県県境（包石）と唐津市相賀崎北東端を結んだ直線以南の海域 （関係地区：旧唐津市）</p> <p>② 所属する漁業協同組合が保有する共同漁業権漁場内。 ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、所属する支所に関する共同漁業権漁場内に限る。 （関係地区：玄海町、旧肥前町、伊万里市）</p> <p>2 操 業 期 間 1月1日から12月31日まで</p> <p>3 許可の有効期間 3年以内</p> <p>4 許 可 統 数 関係漁業協同組合間（ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、合併により発足する以前の関係漁業協同組合間）で締結した操業協定に定められた統数の範囲内とする。</p> <p>5 制 限 又 は 条 件 (1)十分な社会的信用を有しない者への許可は認めない。</p>	<p>第1 制限措置</p> <p>1 漁業種類 いわし1そう船びき網漁業</p> <p>2 許可又は起業の認可をすべき船舶の数 関係漁業協同組合間（ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、合併により発足する以前の関係漁業協同組合間）で締結した操業協定に定められた統数の範囲内とする。</p> <p>3 船舶の総トン数 制限なし</p> <p>4 推進機関の馬力数 制限なし</p> <p>5 操業区域 佐賀県玄海海域</p> <p>6 漁業時期 1月1日から12月31日まで</p> <p>7 漁業を営む者の資格 (1)旧唐津市、玄海町、旧肥前町又は伊万里市のいずれかの地区において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者。又は、上記以外の地区において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者のうち、松浦海区漁業調整委員会に諮り、漁業調整上支障がないと認められた者。 (2)佐賀県の漁船原簿に登録されている船舶を使用する権利を有する者 (3)佐賀県漁業調整規則（令和2年佐賀県規則第63号。以下「規則」という。）第10条第1項各号のいずれ</p>

	<p>にも該当しない者</p> <p>(4) 適切な資源管理を实践できる者</p> <p>(5) 漁業の生産力の向上に努めようとする者</p> <p>第2 許可の有効期間 令和5年1月1日から令和9年12月31日まで</p> <p>第3 申請すべき期間</p> <p>1 申請すべき期間（以下「申請期間」という。）は、<u>令和4年12月1日から令和4年12月15日まで</u>とする。</p> <p>2 申請期間に到着し、受付けた申請の数（以下「受付数」という。）が、上限に到達しないときは、申請期間の最終日の次の開庁日を新たな申請期間として追加する。</p> <p>3 令和4年12月15日までの期間において、受付数と申請期間の最終日時点で有効な許可又は起業の認可を受けている船舶の数を足した数（以下「合計数」という。）が上限に到達するまでは、最後に追加した申請期間の次の開庁日を更に新たな申請期間として追加することを繰り返す。ただし、最後に追加した申請期間より前の申請期間に受付けたもののうち、許可、起業の認可若しくは不許可の処分又は申請の取下げをしたものについては、これを受付数から除く。</p> <p>4 合計数が上限に到達した日以降から令和9年11月10日までの期間において、廃業等の事由により残枠が生じた場合は、新たな申請期間を追加する。申請期間は、規則第11条第1項に基づく公示をした日から10日間とする。ただ</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

し、10日後が閉庁日のときは、その次の開庁日までを申請期間とする。また、これ以降の申請期間の取扱いは、上記3に同じ。

第4 許可の基準

合計数が上限を超える場合は、最後に設定した申請期間に受付けた者を次に掲げる優先順位により許可又は起業の認可をする者を定める。ただし、同順位である者相互間の優先順位は抽選による。なお、規則第9条第1項第2号に該当する場合は、この限りでない。また、各順位の基準日は該当する申請期間の始期の前日とする。

- (1) 基準日において従前の当該漁業の許可を有していた者。ただし、当該順位の適用は、令和4年12月15日までに受付けた申請、かつ、有していた許可件数の範囲までとする。
- (2) 基準日において当該漁業の許可を有していた者から許可を承継し、許可を有していた船舶と同じ船舶にて当該漁業を営もうとする者。（従前の当該漁業の許可を有していた者が、この許可方針に基づく更新申請を行わないことに伴い許可を承継する場合を含む。）ただし、当該順位の適用は、許可を承継する者が、許可を譲渡する者と2親等以内の親族である場合に限る。
- (3) 基準日から過去5年間において当該漁業の許可（従前の許可を含む。）を有していたことがある者
- (4) 基準日において当該漁業以外の漁業の許可を有していた者
- (5) 上記（1）から（4）に該当しない

者

第5 条件

- 1 旧唐津市地区において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者は、佐賀、福岡両県県境（包石）と唐津市相賀崎北東端を結んだ直線以南の海域以外の海域及び共同漁業権漁場で操業してはならない。ただし、共同漁業権漁場において、事前に共同漁業権者と協議し、同意を得られた場合はこの限りでなく、その際は同意書の写しを操業時に携帯しなければならない。
- 2 玄海町、旧肥前町又は伊万里市を根拠地において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者は、所属する漁業協同組合が保有する共同漁業権漁場以外では操業してはならない。ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、所属する支所に関する共同漁業権漁場内に限る。

機 船 船 び き 網 漁 業

いわし2そう船びき網漁業

現行許可方針	更新許可方針（案）
<p>1 操 業 区 域</p> <p>① 佐賀、福岡両県県境（包石）と唐津市相賀崎北東端を結んだ直線以南の海域 （関係地区：旧唐津市）</p> <p>② 所属する漁業協同組合が保有する共同漁業権漁場内。 ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、所属する支所に関する共同漁業権漁場内に限る。 （関係地区：玄海町、旧肥前町、伊万里市）</p> <p>2 操 業 期 間 1月1日から12月31日まで</p> <p>3 許可の有効期間 3年以内</p> <p>4 許 可 統 数 関係漁業協同組合間（ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、合併により発足する以前の関係漁業協同組合間）で締結した操業協定に定められた統数の範囲内とする。</p> <p>5 制 限 又 は 条 件 (1) 僚船は、申請時に申請者が指定した船舶を使用しなければならない。 (2) 十分な社会的信用を有しない者</p>	<p>第1 制限措置</p> <p>1 漁業種類 いわし2そう船びき網漁業</p> <p>2 許可又は起業の認可をすべき船舶の数 関係漁業協同組合間（ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、合併により発足する以前の関係漁業協同組合間）で締結した操業協定に定められた統数の範囲内とする。</p> <p>3 船舶の総トン数 制限なし</p> <p>4 推進機関の馬力数 制限なし</p> <p>5 操業区域 佐賀県玄海海域</p> <p>6 漁業時期 1月1日から12月31日まで</p> <p>7 漁業を営む者の資格 (1) 旧唐津市、玄海町、旧肥前町又は伊万里市のいずれかの地区において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者。又は、上記以外の地区において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者のうち、松浦海区漁業調整委員会に諮り、漁業調整上支障がなと認められた者。 (2) 佐賀県の漁船原簿に登録されている船舶を使用する権利を有する者 (3) 佐賀県漁業調整規則（令和2年佐賀県規則第63号。以下「規則」とい</p>

への許可は認めない。

う。)第10条第1項各号のいずれにも該当しない者

(4) 適切な資源管理を实践できる者

(5) 漁業の生産力の向上に努めようとする者

第2 許可の有効期間

令和5年1月1日から令和9年12月31日まで

第3 申請すべき期間

1 申請すべき期間(以下「申請期間」という。)は、令和4年12月1日から令和4年12月15日までとする。

2 申請期間に到着し、受付けた申請の数(以下「受付数」という。)が、上限に到達しないときは、申請期間の最終日の次の開庁日を新たな申請期間として追加する。

3 令和4年12月15日までの期間において、受付数と申請期間の最終日時点で有効な許可又は起業の認可を受けている船舶の数を足した数(以下「合計数」という。)が上限に到達するまでは、最後に追加した申請期間の次の開庁日を更に新たな申請期間として追加することを繰り返す。ただし、最後に追加した申請期間より前の申請期間に受付けたもののうち、許可、起業の認可若しくは不許可の処分又は申請の取下げをしたものについては、これを受付数から除く。

4 合計数が上限に到達した日以降から令和9年11月10日までの期間において、廃業等の事由により残枠が生じた場合は、新たな申請期間を追加す

る。申請期間は、規則第11条第1項に基づく公示をした日から10日間とする。ただし、10日後が閉庁日のときは、その次の開庁日までを申請期間とする。また、これ以降の申請期間の取扱いは、上記3に同じ。

第4 許可の基準

合計数が上限を超える場合は、最後に設定した申請期間に受付けた者を次に掲げる優先順位により許可又は起業の認可をする者を定める。ただし、同順位である者相互間の優先順位は抽選による。なお、規則第9条第1項第2号に該当する場合は、この限りでない。また、各順位の基準日は該当する申請期間の始期の前日とする。

(1) 基準日において従前の当該漁業の許可を有していた者。ただし、当該順位の適用は、令和4年12月15日までに受付けた申請、かつ、有していた許可件数の範囲までとする。

(2) 基準日において当該漁業の許可を有していた者から許可を承継し、許可を有していた船舶と同じ船舶にて当該漁業を営もうとする者。(従前の当該漁業の許可を有していた者が、この許可方針に基づく更新申請を行わないことに伴い許可を承継する場合を含む。)ただし、当該順位の適用は、許可を承継する者が、許可を譲渡する者と2親等以内の親族である場合に限る。

(3) 基準日から過去5年間において当該漁業の許可(従前の許可を含む。)を有していたことがある者

(4) 基準日において当該漁業以外の漁

	<p>業の許可を有していた者 (5) 上記(1)から(4)に該当しない者</p> <p>第5 条件</p> <p>1 旧唐津市地区において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者は、佐賀、福岡両県県境(包石)と唐津市相賀崎北東端を結んだ直線以南の海域以外の海域及び共同漁業権漁場で操業してはならない。</p> <p>ただし、共同漁業権漁場において、事前に共同漁業権者と協議し、同意を得られた場合はこの限りでなく、その際は同意書の写しを操業時に携帯しなければならない。</p> <p>2 玄海町、旧肥前町又は伊万里市を根拠地において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者は、所属する漁業協同組合が保有する共同漁業権漁場以外では操業してはならない。ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、所属する支所に関する共同漁業権漁場内に限る。</p> <p>3 僚船は、申請時に申請者が指定した船舶を使用しなければならない。</p>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

機 船 船 び き 網 漁 業

かなぎ1そう船びき網漁業

現行許可方針	更新許可方針（案）
<p>1 操 業 区 域</p> <p>① 次のア、イ、ウ及びエの各点を順次に結んだ直線とオ、カ、キ、ク、ケ及びコの各点を順次に結んだ直線と最大高潮時海岸線とによって囲まれた海域</p> <p>（関係地区：旧唐津市、旧呼子町、旧鎮西町、玄海町）</p> <p>ア 唐津市大島北端</p> <p>イ 唐津市相賀崎北東端と福岡県糸島市志摩姫島山頂を結んだ直線と福岡県糸島市二丈串崎北端と唐津市呼子町小川島北東端を結んだ直線との交点</p> <p>ウ 唐津市呼子町小川島北東端</p> <p>エ 唐津市鎮西町加唐島北東端</p> <p>オ 唐津市鎮西町加唐島北西端</p> <p>カ 唐津市鎮西町加唐島北西端と同馬渡島大長崎鼻北端を結んだ直線と、唐津市呼子町鷹島灯台と唐津市鎮西町加唐島南端を結んだ直線の延長線との交点</p> <p>キ 玄海町値賀崎西端と唐津市鎮西町馬渡島西端を結んだ直線と、同灘崎南西端と唐津市肥</p>	<p>第1 制限措置</p> <p>1 漁業種類 かなぎ1そう船びき網漁業</p> <p>2 許可又は起業の認可をすべき船舶の数 関係漁業協同組合間（ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、合併により発足する以前の関係漁業協同組合間）で締結した操業協定に定められた統数の範囲内とする。</p> <p>3 船舶の総トン数 制限なし</p> <p>4 推進機関の馬力数 制限なし</p> <p>5 操業区域 佐賀県玄海海域</p> <p>6 漁業時期 1月1日から10月31日まで</p> <p>7 漁業を営む者の資格 （1）旧唐津市、旧呼子町、旧鎮西町、玄海町、旧肥前町、伊万里市のいずれかの地区において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者。又は、上記以外の地区において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者のうち、松浦海区漁業調整委員会に諮り、漁業調整上支障がないと認められた者。 （2）佐賀県の漁船原簿に登録されてい</p>

<p>前町向島灯台を結んだ直線との交点</p> <p>ク 玄海町がま瀬南端と唐津市肥前町瓶焼鼻北端を結んだ直線と、玄海町玉子島南端と唐津市肥前町佐久目鼻北端を結んだ直線との交点</p> <p>ケ 玄海町玉子島南端</p> <p>コ 玄海町牟形島ノ巢山南端</p> <p>② 所属する漁業協同組合が保有する共同漁業権漁場内。</p> <p>ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、所属する支所に関する共同漁業権漁場内に限る。</p> <p>(関係地区：旧肥前町、伊万里市)</p> <p>2 操業期間</p> <p>1月1日から10月31日まで</p> <p>3 許可の有効期間</p> <p>3年以内</p> <p>4 許可統数</p> <p>関係漁業協同組合間(ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、合併により発足する以前の関係漁業協同組合間)で締結した操業協定に定められた統数の範囲内とする。</p> <p>5 制限又は条件</p> <p>(1) 十分な社会的信用を有しない者への許可は認めない。</p>	<p>る船舶を使用する権利を有する者</p> <p>(3) 佐賀県漁業調整規則(令和2年佐賀県規則第63号。以下「規則」という。)第10条第1項各号のいずれにも該当しない者</p> <p>(4) 適切な資源管理を実践できる者</p> <p>(5) 漁業の生産力の向上に努めようとする者</p> <p>第2 許可の有効期間</p> <p>令和5年1月1日から令和9年12月31日まで</p> <p>第3 申請すべき期間</p> <p>1 申請すべき期間(以下「申請期間」という。)は、<u>令和4年12月1日から令和4年12月15日まで</u>とする。</p> <p>2 申請期間に到着し、受付けた申請の数(以下「受付数」という。)が、上限に到達しないときは、申請期間の最終日の次の開庁日を新たな申請期間として追加する。</p> <p>3 令和4年12月15日までの期間において、受付数と申請期間の最終日時点で有効な許可又は起業の認可を受けている船舶の数を足した数(以下「合計数」という。)が上限に到達するまでは、最後に追加した申請期間の次の開庁日を更に新たな申請期間として追加することを繰り返す。ただし、最後に追加した申請期間より前の申請期間に受付けたもののうち、許可、起業の認可若しくは不許可の処分又は申請の取下げをしたものについては、これを受付数</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>から除く。</p> <p>4 合計数が上限に到達した日以降から令和9年11月10日までの期間において、廃業等の事由により残枠が生じた場合は、新たな申請期間を追加する。申請期間は、規則第11条第1項に基づく公示をした日から10日間とする。ただし、10日後が閉庁日のときは、その次の開庁日までを申請期間とする。また、これ以降の申請期間の取扱いは、上記3に同じ。</p> <p>第4 許可の基準</p> <p>合計数が上限を超える場合は、最後に設定した申請期間に受付けた者を次に掲げる優先順位により許可又は起業の認可をする者を定める。ただし、同順位である者相互間の優先順位は抽選による。なお、規則第9条第1項第2号に該当する場合は、この限りでない。また、各順位の基準日は該当する申請期間の始期の前日とする。</p> <p>(1) 基準日において従前の当該漁業の許可を有していた者。ただし、当該順位の適用は、令和4年12月15日までに受付けた申請、かつ、有していた許可件数の範囲までとする。</p> <p>(2) 基準日において当該漁業の許可を有していた者から許可を承継し、許可を有していた船舶と同じ船舶にて当該漁業を営もうとする者。(従前の当該漁業の許可を有していた者が、この許可方針に基づく更新申請を行わないことに伴い許可を承継する場合を含</p>
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>む。)ただし、当該順位の適用は、許可を承継する者が、許可を譲渡する者と2親等以内の親族である場合に限る。</p> <p>(3) 基準日から過去5年間において当該漁業の許可(従前の許可を含む。)を有していたことがある者</p> <p>(4) 基準日において当該漁業以外の漁業の許可を有していた者</p> <p>(5) 上記(1)から(4)に該当しない者</p> <p>第5 条件</p> <p>1 旧唐津市、旧呼子町、旧鎮西町、玄海町において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者は、次のア、イ、ウ及びエの各点を順次に結んだ直線とオ、カ、キ、ク、ケ及びコの各点を順次に結んだ直線と最大高潮時海岸線とによって囲まれた海域以外の海域では操業してはならない。</p> <p>ア 唐津市大島北端</p> <p>イ 唐津市相賀崎北東端と福岡県糸島市志摩姫島山頂を結んだ直線と福岡県糸島市二丈串崎北端と唐津市呼子町小川島北東端を結んだ直線との交点</p> <p>ウ 唐津市呼子町小川島北</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>東端</p> <p>エ 唐津市鎮西町加唐島北東端</p> <p>オ 唐津市鎮西町加唐島北西端</p> <p>カ 唐津市鎮西町加唐島北西端と同馬渡島大長崎鼻北端を結んだ直線と、唐津市呼子町鷹島灯台と唐津市鎮西町加唐島南端を結んだ直線の延長線との交点</p> <p>キ 玄海町値賀崎西端と唐津市鎮西町馬渡島西端を結んだ直線と、同灘崎南西端と唐津市肥前町向島灯台を結んだ直線との交点</p> <p>ク 玄海町がま瀬南端と唐津市肥前町瓶焼鼻北端を結んだ直線と、玄海町玉子島南端と唐津市肥前町佐久目鼻北端を結んだ直線との交点</p> <p>ケ 玄海町玉子島南端</p> <p>コ 玄海町傘形鳥ノ巢山南端</p> <p>2 旧肥前町、伊万里市において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者は、所属する漁業協同組合が保有する共同漁業権漁場以外では操業してはならない。ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、所属する支所に関する</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	る共同漁業権漁場内に限る。
--	---------------

機 船 船 び き 網 漁 業

さより2そう船びき網漁業

現行許可方針	更新許可方針（案）
<p>1 操 業 区 域 佐賀県海域とする。ただし、4月16日から同年5月15日までの操業区域は、所属する漁協が有する共同漁業権漁場（ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、所属する支所に関する共同漁業権漁場）内とする。</p> <p>2 操 業 期 間 11月1日から翌年5月15日まで</p> <p>3 許可の有効期間 3年以内</p> <p>4 使 用 船 舶 5トン未満</p> <p>5 制 限 又 は 条 件 (1)共同漁業権漁場内で操業する場合は、漁業権者と協議し、協議が成立しなければ操業してはならない。 (2)使用する漁具は、浮子方の長さ22メートル以下でなければならない。 (3)僚船は、申請時に申請者が指定した船舶を使用しなければならない。 (4)十分な社会的信用を有しない者への許可は認めない。</p>	<p>第1 制限措置</p> <p>1 漁業種類 さより2そう船びき網漁業</p> <p>2 許可又は起業の認可をすべき船舶の数 50隻</p> <p>3 船舶の総トン数 5トン未満</p> <p>4 推進機関の馬力数 制限なし</p> <p>5 操業区域 佐賀県玄海海域</p> <p>6 漁業時期 11月1日から翌年5月15日まで</p> <p>7 漁業を営む者の資格 (1)佐賀県において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者 (2)佐賀県の漁船原簿に登録されている船舶を使用する権利を有する者 (3)佐賀県漁業調整規則（令和2年佐賀県規則第63号。以下「規則」という。）第10条第1項各号のいずれにも該当しない者 (4)適切な資源管理を実践できる者 (5)漁業の生産力の向上に努めようとする者</p> <p>第2 許可の有効期間 令和5年1月1日から令和9年12月31日まで</p>

第3 申請すべき期間

1 申請すべき期間（以下「申請期間」という。）は、令和4年12月1日から令和4年12月15日までとする。

2 申請期間に到着し、受付けた申請の数（以下「受付数」という。）が、50件に到達しないときは、申請期間の最終日の次の開庁日を新たな申請期間として追加する。

3 令和4年12月15日までの期間において、受付数と申請期間の最終日時点で有効な許可又は起業の認可を受けている船舶の数を足した数（以下「合計数」という。）が50件に到達するまでは、最後に追加した申請期間の次の開庁日を更に新たな申請期間として追加することを繰り返す。ただし、最後に追加した申請期間より前の申請期間に受付けたもののうち、許可、起業の認可若しくは不許可の処分又は申請の取下げをしたものについては、これを受付数から除く。

4 合計数が50件に到達した日以降から令和9年11月10日までの期間において、廃業等の事由により残枠が生じた場合は、新たな申請期間を追加する。申請期間は、規則第11条第1項に基づく公示をした日から10日間とする。ただし、10日後が開庁日のときは、その次の開庁日までを申請期間とする。また、これ以降の申請期間の取扱いは、上記3に同じ。

第4 許可の基準

合計数が50件を超える場合は、最後に設定した申請期間に受付けた者を次に掲げる優先順位により許可又は起業の認

	<p>可をする者を定める。ただし、同順位である者相互間の優先順位は抽選による。なお、規則第9条第1項第2号に該当する場合は、この限りでない。また、各順位の基準日は該当する申請期間の始期の前日とする。</p> <p>(1) 基準日において従前の当該漁業の許可を有していた者。ただし、当該順位の適用は、令和4年12月15日までに受付けた申請、かつ、有していた許可件数の範囲までとする。</p> <p>(2) 基準日において当該漁業の許可を有していた者から許可を承継し、許可を有していた船舶と同じ船舶にて当該漁業を営もうとする者。(従前の当該漁業の許可を有していた者が、この許可方針に基づく更新申請を行わないことに伴い許可を承継する場合を含む。)ただし、当該順位の適用は、許可を承継する者が、許可を譲渡する者と2親等以内の親族である場合に限る。</p> <p>(3) 基準日から過去5年間において当該漁業の許可(従前の許可を含む。)を有していたことがある者</p> <p>(4) 基準日において当該漁業以外の漁業の許可を有していた者</p> <p>(5) 上記(1)から(4)に該当しない者</p> <p>第5 条件</p> <p>1 共同漁業権漁場内で操業する場合は、事前に共同漁業権者と協議し、同意を得られた場合はこの限りでなく、その際は同意書の写しを操業時に携帯しなければならない</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>い。</p> <p>2 4月16日から同年5月15日まで は、所属する漁協が有する共同漁業権 漁場（ただし、佐賀玄海漁業協同組合 においては、所属する支所に関する共 同漁業権漁場）内でのみ操業できる。</p> <p>3 使用する漁具は、浮子方の長さ 22メートル以下でなければならない。</p> <p>4 僚船は、申請時に申請者が指定 した船舶を使用しなければならない。</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

機 船 船 び き 網 漁 業

とびうお2そう船びき網漁業

現行許可方針	更新許可方針（案）
<p>1 操 業 区 域 佐賀県海域</p> <p>2 操 業 期 間 9月1日から10月31日まで</p> <p>3 許可の有効期間 3年以内</p> <p>4 使 用 船 舶 5トン未満</p> <p>5 制 限 又 は 条 件 (1)共同漁業権漁場内で操業する場合は、漁業権者と協議し、協議が成立しなければ操業してはならない。 (2)使用する漁具は、浮子方の長さ25メートル以下でなければならない。 (3)夜間（日没から日の出まで）は、操業してはならない。 (4) 僚船は、申請時に申請者が指定した船舶を使用しなければならない。 (5) 十分な社会的信用を有しない者への許可は認めない。</p>	<p>第1 制限措置</p> <p>1 漁業種類 とびうお2そう船びき網漁業</p> <p>2 許可又は起業の認可をすべき船舶の数 <u>5隻</u></p> <p>3 船舶の総トン数 5トン未満</p> <p>4 推進機関の馬力数 制限なし</p> <p>5 操業区域 佐賀県玄海海域</p> <p>6 漁業時期 9月1日から10月31日まで</p> <p>7 漁業を営む者の資格 (1) 佐賀県において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者 (2) 佐賀県の漁船原簿に登録されている船舶を使用する権利を有する者 (3) 佐賀県漁業調整規則（令和2年佐賀県規則第63号。以下「規則」という。）第10条第1項各号のいずれにも該当しない者 (4) 適切な資源管理を実践できる者 (5) 漁業の生産力の向上に努めようとする者</p> <p>第2 許可の有効期間 令和5年1月1日から令和9年12月31日まで</p>

第3 申請すべき期間

1 申請すべき期間（以下「申請期間」という。）は、令和4年12月1日から令和4年12月15日までとする。

2 申請期間に到着し、受付けた申請の数（以下「受付数」という。）が、5件に到達しないときは、申請期間の最終日の次の開庁日を新たな申請期間として追加する。

3 令和4年12月15日までの期間において、受付数と申請期間の最終日時点で有効な許可又は起業の認可を受けている船舶の数を足した数（以下「合計数」という。）が5件に到達するまでは、最後に追加した申請期間の次の開庁日を更に新たな申請期間として追加することを繰り返す。ただし、最後に追加した申請期間より前の申請期間に受付けたもののうち、許可、起業の認可若しくは不許可の処分又は申請の取下げをしたものについては、これを受付数から除く。

4 合計数が5件に到達した日以降から令和9年9月10日までの期間において、廃業等の事由により残枠が生じた場合は、新たな申請期間を追加する。申請期間は、規則第11条第1項に基づく公示をした日から10日間とする。ただし、10日後が開庁日のときは、その次の開庁日までを申請期間とする。また、これ以降の申請期間の取扱いは、上記3に同じ。

第4 許可の基準

合計数が5件を超える場合は、最後に設定した申請期間に受付けた者を次に掲げる優先順位により許可又は起業の認可を

する者を定める。ただし、同順位である者相互間の優先順位は抽選による。なお、規則第9条第1項第2号に該当する場合は、この限りでない。また、各順位の基準日は該当する申請期間の始期の前日とする。

(1) 基準日において従前の当該漁業の許可を有していた者。ただし、当該順位の適用は、令和4年12月15日までに受付けた申請、かつ、有していた許可件数の範囲までとする。

(2) 基準日において当該漁業の許可を有していた者から許可を承継し、許可を有していた船舶と同じ船舶にて当該漁業を営もうとする者。(従前の当該漁業の許可を有していた者が、この許可方針に基づく更新申請を行わないことに伴い許可を承継する場合を含む。)ただし、当該順位の適用は、許可を承継する者が、許可を譲渡する者と2親等以内の親族である場合に限る。

(3) 基準日から過去5年間に於いて当該漁業の許可(従前の許可を含む。)を有していたことがある者

(4) 基準日において当該漁業以外の漁業の許可を有していた者

(5) 上記(1)から(4)に該当しない者

第5 条件

1 共同漁業権漁場内で操業する場合は、事前に共同漁業権者と協議し、同意を得られた場合はこの限りでなく、その際は同意書の写しを操業時に携帯しなければならない。

	<p>2 使用する漁具は、浮子方の長さ 25メートル以下でなければならない。</p> <p>3 夜間（日没から日の出まで） は、操業してはならない。</p> <p>4 僚船は、申請時に申請者が指定 した船舶を使用しなければならない。</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

機 船 船 び き 網 漁 業

雑魚 1 そう船びき網漁業

現行許可方針	更新許可方針（案）
<p>1 操 業 区 域 玄海町値賀崎西端と長崎県松浦市鷹島町阿翁崎鼻北端を結んだ直線以南の佐賀県海域（関係地区：玄海町、旧肥前町）</p> <p>2 操 業 期 間 1月1日から12月31日まで</p> <p>3 許 可 の 有 効 期 間 3年以内</p> <p>4 許 可 統 数 関係漁業協同組合間（ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、合併により発足する以前の関係漁業協同組合間）で締結した操業協定に定められた統数の範囲内とする。</p> <p>5 制 限 又 は 条 件 (1) 共同漁業権漁場内で操業する場合は、漁業権者と協議し、協議が成立しなければ操業してはならない。 (2) 十分な社会的信用を有しない者への許可は認めない。</p>	<p>第 1 制 限 措 置</p> <p>1 漁業種類 雑魚 1 そう船びき網漁業</p> <p>2 許可又は起業の認可をすべき船舶の数 関係漁業協同組合間（ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、合併により発足する以前の関係漁業協同組合間）で締結した操業協定に定められた統数の範囲内とする。</p> <p>3 船舶の総トン数 制限なし</p> <p>4 推進機関の馬力数 制限なし</p> <p>5 操業区域 佐賀県玄海海域</p> <p>6 漁業時期 1月1日から12月31日まで</p> <p>7 漁業を営む者の資格 (1) 玄海町、旧肥前町のいずれかの地区において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者 (2) 佐賀県の漁船原簿に登録されている船舶を使用する権利を有する者 (3) 佐賀県漁業調整規則（令和2年佐賀県規則第63号。以下「規則」という。）第10条第1項各号のいずれにも該当しない者 (4) 適切な資源管理を実践できる者 (5) 漁業の生産力の向上に努めようとする者</p> <p>第 2 許 可 の 有 効 期 間</p>

令和5年1月1日から令和9年12月31日まで

第3 申請すべき期間

- 1 申請すべき期間（以下「申請期間」という。）は、令和4年12月1日から令和4年12月15日までとする。
- 2 申請期間に到着し、受付けた申請の数（以下「受付数」という。）が、上限に到達しないときは、申請期間の最終日の次の開庁日を新たな申請期間として追加する。
- 3 令和4年12月15日までの期間において、受付数と申請期間の最終日時点で有効な許可又は起業の認可を受けている船舶の数を足した数（以下「合計数」という。）が上限に到達するまでは、最後に追加した申請期間の次の開庁日を更に新たな申請期間として追加することを繰り返す。ただし、最後に追加した申請期間より前の申請期間に受付けたもののうち、許可、起業の認可若しくは不許可の処分又は申請の取下げをしたものについては、これを受付数から除く。
- 4 合計数が上限に到達した日以降から令和9年11月10日までの期間において、廃業等の事由により残枠が生じた場合は、新たな申請期間を追加する。申請期間は、規則第11条第1項に基づく公示をした日から10日間とする。ただし、10日後が開庁日のときは、その次の開庁日までを申請期間とする。また、これ以降の申請期間の取扱いは、上記3に同じ。

第4 許可の基準

合計数が上限を超える場合は、最後に設定した申請期間に受付けた者を次に掲げる優先順位により許可又は起業の認可をする者を定める。ただし、同順位である者相互間の優先順位は抽選による。なお、規則第9条第1項第2号に該当する場合は、この限りでない。また、各順位の基準日は該当する申請期間の始期の前日とする。

- (1) 基準日において従前の当該漁業の許可を有していた者。ただし、当該順位の適用は、令和4年12月15日までに受付けた申請、かつ、有していた許可件数の範囲までとする。
- (2) 基準日において当該漁業の許可を有していた者から許可を承継し、許可を有していた船舶と同じ船舶にて当該漁業を営もうとする者。(従前の当該漁業の許可を有していた者が、この許可方針に基づく更新申請を行わないことに伴い許可を承継する場合を含む。)ただし、当該順位の適用は、許可を承継する者が、許可を譲渡する者と2親等以内の親族である場合に限る。
- (3) 基準日から過去5年間に於いて当該漁業の許可(従前の許可を含む。)を有していたことがある者
- (4) 基準日において当該漁業以外の漁業の許可を有していた者
- (5) 上記(1)から(4)に該当しない者

第5 条件

- 1 玄海町値賀崎西端と長崎県松浦市鷹島町阿翁崎鼻北端を結んだ直線以南の佐賀県海域以外では操業してはならない。

	<p>2 共同漁業権漁場内で操業する場合は、事前に共同漁業権者と協議し、同意を得られた場合はこの限りでなく、その際は同意書の写しを操業時に携帯しなければならない。</p>
--	---------------------------------------------------------------------------------------

機 船 船 び き 網 漁 業

あず1 そう船びき網漁業

現行許可方針	更新許可方針（案）
<p>1 操 業 区 域 佐賀県海域</p> <p>2 操 業 期 間 1月1日から6月30日まで</p> <p>3 許可の有効期間 3年以内</p> <p>4 制限又は条件 (1)共同漁業権漁場内で操業する場合は、漁業権者と協議し、協議が成立しなければ操業してはならない。 (2)十分な社会的信用を有しない者への許可は認めない。</p>	<p>1 漁業種類 あず1 そう船びき網漁業</p> <p>2 許可又は起業の認可をすべき船舶の数 10隻</p> <p>3 船舶の総トン数 制限なし</p> <p>4 推進機関の馬力数 制限なし</p> <p>5 操業区域 佐賀県玄海海域</p> <p>6 漁業時期 1月1日から6月30日まで</p> <p>7 漁業を営む者の資格 (1)佐賀県において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者 (2)佐賀県の漁船原簿に登録されている船舶を使用する権利を有する者 (3)佐賀県漁業調整規則（令和2年佐賀県規則第63号。以下「規則」という。）第10条第1項各号のいずれにも該当しない者 (4)適切な資源管理を実践できる者 (5)漁業の生産力の向上に努めようとする者</p> <p>第2 許可の有効期間 令和5年1月1日から令和9年12月31日まで</p> <p>第3 申請すべき期間 1 申請すべき期間（以下「申請期間」という。）は、令和4年12月1日から令和</p>

4年12月15日までとする。

2 申請期間に到着し、受付けた申請の数（以下「受付数」という。）が、10件に到達しないときは、申請期間の最終日の次の開庁日を新たな申請期間として追加する。

3 令和4年12月15日までの期間において、受付数と申請期間の最終日時点で有効な許可又は起業の認可を受けている船舶の数を足した数（以下「合計数」という。）が10件に到達するまでは、最後に追加した申請期間の次の開庁日を更に新たな申請期間として追加することを繰り返す。ただし、最後に追加した申請期間より前の申請期間に受付けたもののうち、許可、起業の認可若しくは不許可の処分又は申請の取下げをしたものについては、これを受付数から除く。

4 合計数が10件に到達した日以降から令和9年11月10日までの期間において、廃業等の事由により残枠が生じた場合は、新たな申請期間を追加する。申請期間は、規則第11条第1項に基づく公示をした日から10日間とする。ただし、10日後が開庁日のときは、その次の開庁日までを申請期間とする。また、これ以降の申請期間の取扱いは、上記3に同じ。

第4 許可の基準

合計数が10件を超える場合は、最後に設定した申請期間に受付けた者を次に掲げる優先順位により許可又は起業の認可をする者を定める。ただし、同順位である者相互間の優先順位は抽選による。なお、規則第9

	<p>条第1項第2号に該当する場合は、この限りでない。また、各順位の基準日は該当する申請期間の始期の前日とする。</p> <p>(1) 基準日において従前の当該漁業の許可を有していた者。ただし、当該順位の適用は、令和4年12月15日までに受付けた申請、かつ、有していた許可件数の範囲までとする。</p> <p>(2) 基準日において当該漁業の許可を有していた者から許可を承継し、許可を有していた船舶と同じ船舶にて当該漁業を営もうとする者。(従前の当該漁業の許可を有していた者が、この許可方針に基づく更新申請を行わないことに伴い許可を承継する場合を含む。)ただし、当該順位の適用は、許可を承継する者が、許可を譲渡する者と2親等以内の親族である場合に限る。</p> <p>(3) 基準日から過去5年間において当該漁業の許可(従前の許可を含む。)を有していたことがある者</p> <p>(4) 基準日において当該漁業以外の漁業の許可を有していた者</p> <p>(5) 上記(1)から(4)に該当しない者</p> <p>第5 条件</p> <p>1 共同漁業権漁場内で操業する場合は、事前に共同漁業権者と協議し、同意を得られた場合はこの限りでなく、その際は同意書の写しを操業時に携帯しなければならない。</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

刺 網 漁 業	
きす一重流し刺網漁業	
現行許可方針	更新許可方針（案）
<p>1 操 業 区 域</p> <p>① 唐津市土器崎から正北に引いた直線と、唐津市鎮西町串崎と同馬渡島南西端を結んだ直線及びその延長線との間の佐賀県海域 （関係地区：旧呼子町、旧鎮西町）</p> <p>② 唐津市鎮西町串崎と同馬渡島南西端を結んだ直線及びその延長線より南西の佐賀県海域 （関係地区：玄海町、旧肥前町、伊万里市）</p> <p>2 操 業 期 間 6月1日から12月31日まで</p> <p>3 許可の有効期間 3年以内</p> <p>4 制限又は条件</p> <p>(1) 共同漁業権漁場内で操業する場合は、漁業権者と協議し、協議が成立しなければ操業してはならない。</p> <p>(2) 定置漁業の保護区域内で操業してはならない。</p> <p>(3) 使用する漁具は、浮子方の長さ200メートル以内のもの1統とする。（替網を船内に搭載してはならない。）</p> <p>(4) 夜間（日没から日の出まで）は、操業してはならない。</p> <p>(5) 佐賀県漁業調整規則第55条に規定された漁具の標識に許可番号を記載しなければならない。</p>	<p>第1 制限措置</p> <p>1 漁業種類 きす一重流し刺網漁業</p> <p>2 許可又は起業の認可をすべき船舶の数 <u>10隻</u></p> <p>3 船舶の総トン数 制限なし</p> <p>4 推進機関の馬力数 制限なし</p> <p>5 操業区域 佐賀県玄海海域</p> <p>6 漁業時期 6月1日から12月31日まで</p> <p>7 漁業を営む者の資格</p> <p>(1) 旧呼子町、旧鎮西町、玄海町、旧肥前町又は伊万里市のいずれかの地区において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者。又は、上記以外の地区において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者のうち、松浦海区漁業調整委員会に諮り、漁業調整上支障がないと認められた者。</p> <p>(2) 佐賀県の漁船原簿に登録されている船舶を使用する権利を有する者</p> <p>(3) 佐賀県漁業調整規則（令和2年佐賀県規則第63号。以下「規則」という。）第10条第1項各号のいずれにも該当しない者</p> <p>(4) 適切な資源管理を実践できる者</p> <p>(5) 漁業の生産力の向上に努めようと</p>

<p>(6) 操業中は、使用船舶を漁具の周囲50メートルの範囲内に留めておかなければならない。</p> <p>(7) 使用船舶の機関室の両側の舷檣板（通称カイング）にだいたい色の船体表示（巾20センチメートル、長さ160センチメートル）をしなければならない。</p> <p>(8) 十分な社会的信用を有しない者</p> <p>5 許可の対象</p> <p>次の各号のいずれにも該当しないものとする。</p> <p>① 準組合員、非組合員</p> <p>② 兼業漁業者</p> <p>③ 過去1年間に漁業関係法令に違反し、司法処分を受けた者</p> <p>④ 小型・中型まき網漁業、ごち網漁業、えびこぎ網漁業、第2種共同漁業権の内容となる漁業を営んでいる者</p>	<p>する者</p> <p>第2 許可の有効期間</p> <p>令和5年1月1日から令和9年12月31日まで</p> <p>第3 申請すべき期間</p> <p>1 申請すべき期間（以下「申請期間」という。）は、<u>令和4年12月1日から令和4年12月15日まで</u>とする。</p> <p>2 申請期間に到着し、受付けた申請の数（以下「受付数」という。）が、<u>10件</u>に到達しないときは、申請期間の最終日の次の開庁日を新たな申請期間として追加する。</p> <p>3 令和4年12月15日までの期間において、受付数と申請期間の最終日時点で有効な許可又は起業の認可を受けている船舶の数を足した数（以下「合計数」という。）が<u>10件</u>に到達するまでは、最後に追加した申請期間の次の開庁日を更に新たな申請期間として追加することを繰り返す。ただし、最後に追加した申請期間より前の申請期間に受付けたもののうち、許可、起業の認可若しくは不許可の処分又は申請の取下げをしたものについては、これを受付数から除く。</p> <p>4 合計数が<u>10件</u>に到達した日以降から令和9年11月10日までの期間において、廃業等の事由により残枠が生じた場合は、新たな申請期間を追加する。申請期間は、規則第11条第1項に基づく公示をした日から10日間とする。ただし、10日後が開庁日のときは、その次の開庁日までを申請期間とする。また、これ以降の申請期間の取扱いは、上記3</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

に同じ。

第4 許可の基準

合計数が10件を超える場合は、最後に設定した申請期間に受付けた者を次に掲げる優先順位により許可又は起業の認可をする者を定める。ただし、同順位である者相互間の優先順位は抽選による。なお、規則第9条第1項第2号に該当する場合は、この限りでない。また、各順位の基準日は該当する申請期間の始期の前日とする。

(1) 基準日において従前の当該漁業の許可を有していた者。ただし、当該順位の適用は、令和4年12月15日までに受付けた申請、かつ、有していた許可件数の範囲までとする。

(2) 基準日において当該漁業の許可を有していた者から許可を承継し、許可を有していた船舶と同じ船舶にて当該漁業を営もうとする者。(従前の当該漁業の許可を有していた者が、この許可方針に基づく更新申請を行わないことに伴い許可を承継する場合を含む。)ただし、当該順位の適用は、許可を承継する者が、許可を譲渡する者と2親等以内の親族である場合に限る。

(3) 基準日から過去5年間において当該漁業の許可(従前の許可を含む。)を有していたことがある者

(4) 基準日において当該漁業以外の漁業の許可を有していた者

(5) 上記(1)から(4)に該当しない者

第5 条件

1 旧呼子町又は旧鎮西町において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者は、唐津市土器崎から正北に引いた直線と唐津市鎮西町串崎と同馬渡島南西端を結んだ直線及びその延長線との間の佐賀県海域以外の海域では操業してはならない。

2 玄海町、旧肥前町又は伊万里市において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者は、唐津市鎮西町串崎と同馬渡島南西端を結んだ直線及びその延長線より南西の佐賀県海域以外の海域では操業してはならない。

3 共同漁業権漁場内で操業する場合は、事前に共同漁業権者と協議し、同意を得られた場合はこの限りでなく、その際は同意書の写しを操業時に携帯しなければならない。

4 定置漁業の保護区域内で操業してはならない。

5 使用する漁具は、浮子方の長さ200メートル以内のもの1統とする。(替網を船内に搭載してはならない。)

6 夜間(日没から日の出まで)は、操業してはならない。

7 規則第55条に規定された漁具の標識に許可番号を記載しなければならない。

8 操業中は、使用船舶を漁具の周囲50メートルの範囲内に留め

	<p>ておかなければならない。</p> <p>9 使用船舶の機関室の両側の舷 檣板（通称カイシング）にだいた い色の船体表示（巾20センチメー トル、長さ160センチメートル） をしなければならない。</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

刺 網 漁 業	
このしろ一重流し刺網漁業	
現行許可方針	更新許可方針（案）
<p>1 操 業 区 域 所属する漁業協同組合が保有する共同漁業権漁場内。 ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、所属する支所に関する共同漁業権漁場に限る。</p> <p>2 操 業 期 間 1月1日から12月31日まで</p> <p>3 許可の有効期間 3年以内</p> <p>4 制 限 又 は 条 件 (1) 使用する漁具は、浮子方の長さ500メートル以内のもの1統とする。 (2) 十分な社会的信用を有しない者への許可は認めない。</p>	<p>第1 制限措置</p> <p>1 漁業種類 このしろ一重流し刺網漁業</p> <p>2 許可又は起業の認可をすべき船舶の数 30隻</p> <p>3 船舶の総トン数 制限なし</p> <p>4 推進機関の馬力数 制限なし</p> <p>5 操業区域 佐賀県玄海海域</p> <p>6 漁業時期 1月1日から12月31日まで</p> <p>7 漁業を営む者の資格 (1) 佐賀県において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者 (2) 佐賀県の漁船原簿に登録されている船舶を使用する権利を有する者 (3) 佐賀県漁業調整規則（令和2年佐賀県規則第63号。以下「規則」という。）第10条第1項各号のいずれにも該当しない者 (4) 適切な資源管理を実践できる者 (5) 漁業の生産力の向上に努めようとする者</p> <p>第2 許可の有効期間 令和5年1月1日から令和9年12月31日まで</p>

第3 申請すべき期間

1 申請すべき期間（以下「申請期間」という。）は、令和4年12月1日から令和4年12月15日までとする。

2 申請期間に到着し、受付けた申請の数（以下「受付数」という。）が、30件に到達しないときは、申請期間の最終日の次の開庁日を新たな申請期間として追加する。

3 令和4年12月15日までの期間において、受付数と申請期間の最終日時点で有効な許可又は起業の認可を受けている船舶の数を足した数（以下「合計数」という。）が30件に到達するまでは、最後に追加した申請期間の次の開庁日を更に新たな申請期間として追加することを繰り返す。ただし、最後に追加した申請期間より前の申請期間に受付けたもののうち、許可、起業の認可若しくは不許可の処分又は申請の取下げをしたものについては、これを受付数から除く。

4 合計数が30件に到達した日以降から令和9年11月10日までの期間において、廃業等の事由により残枠が生じた場合は、新たな申請期間を追加する。申請期間は、規則第11条第1項に基づく公示をした日から10日間とする。ただし、10日後が開庁日のときは、その次の開庁日までを申請期間とする。また、これ以降の申請期間の取扱いは、上記3に同じ。

第4 許可の基準

合計数が30件を超える場合は、最後に設定した申請期間に受付けた者を次に掲げる優先順位により許可又は起業の認可

	<p>をする者を定める。ただし、同順位である者相互間の優先順位は抽選による。なお、規則第9条第1項第2号に該当する場合は、この限りでない。また、各順位の基準日は該当する申請期間の始期の前日とする。</p> <p>(1) 基準日において従前の当該漁業の許可を有していた者。ただし、当該順位の適用は、令和4年12月15日までに受付けた申請、かつ、有していた許可件数の範囲までとする。</p> <p>(2) 基準日において当該漁業の許可を有していた者から許可を承継し、許可を有していた船舶と同じ船舶にて当該漁業を営もうとする者。(従前の当該漁業の許可を有していた者が、この許可方針に基づく更新申請を行わないことに伴い許可を承継する場合を含む。)ただし、当該順位の適用は、許可を承継する者が、許可を譲渡する者と2親等以内の親族である場合に限る。</p> <p>(3) 基準日から過去5年間において当該漁業の許可(従前の許可を含む。)を有していたことがある者</p> <p>(4) 基準日において当該漁業以外の漁業の許可を有していた者</p> <p>(5) 上記(1)から(4)に該当しない者</p> <p>第5 条件</p> <p>1 操業区域は、所属する漁業協同組合が保有する共同漁業権漁場内。ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、所属する支所に関する共同漁業権漁場内に限る。</p> <p>2 使用する漁具は、浮子方の長さ</p>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	500メートル以内のもの1統とする。
--	--------------------

刺 網 漁 業	
やず囲刺網漁業	
現行許可方針	更新許可方針（案）
<p>1 操 業 区 域 所属する漁業協同組合が保有する共同漁業権漁場内。 ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、所属する支所に関する共同漁業権漁場内に限る。</p> <p>2 操 業 期 間 1月1日から12月31日まで</p> <p>3 許可の有効期間 3年以内</p> <p>4 制 限 又 は 条 件 (1) 使用する漁具は、浮子方の長さ400メートル以内のものとする。 (2) 夜間（日没から日の出まで）は、操業してはならない。 (3) 十分な社会的信用を有しない者への許可は認めない。</p>	<p>第1 制限措置</p> <p>1 漁業種類 やず囲刺網漁業</p> <p>2 許可又は起業の認可をすべき船舶の数 5隻</p> <p>3 船舶の総トン数 制限なし</p> <p>4 推進機関の馬力数 制限なし</p> <p>5 操業区域 佐賀県玄海海域</p> <p>6 漁業時期 1月1日から12月31日まで</p> <p>7 漁業を営む者の資格 (1) 佐賀県において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者 (2) 佐賀県の漁船原簿に登録されている船舶を使用する権利を有する者 (3) 佐賀県漁業調整規則（令和2年佐賀県規則第63号。以下「規則」という。）第10条第1項各号のいずれにも該当しない者 (4) 適切な資源管理を実践できる者 (5) 漁業の生産力の向上に努めようとする者</p> <p>第2 許可の有効期間 令和5年1月1日から令和9年12月31日まで</p>

第3 申請すべき期間

1 申請すべき期間（以下「申請期間」という。）は、令和4年12月1日から令和4年12月15日までとする。

2 申請期間に到着し、受付けた申請の数（以下「受付数」という。）が、5件に到達しないときは、申請期間の最終日の次の開庁日を新たな申請期間として追加する。

3 令和4年12月15日までの期間において、受付数と申請期間の最終日時点で有効な許可又は起業の認可を受けている船舶の数を足した数（以下「合計数」という。）が5件に到達するまでは、最後に追加した申請期間の次の開庁日を更に新たな申請期間として追加することを繰り返す。ただし、最後に追加した申請期間より前の申請期間に受付けたもののうち、許可、起業の認可若しくは不許可の処分又は申請の取下げをしたものについては、これを受付数から除く。

4 合計数が5件に到達した日以降から令和9年11月10日までの期間において、廃業等の事由により残枠が生じた場合は、新たな申請期間を追加する。申請期間は、規則第11条第1項に基づく公示をした日から10日間とする。ただし、10日後が開庁日のときは、その次の開庁日までを申請期間とする。また、これ以降の申請期間の扱いは、上記3に同じ。

第4 許可の基準

合計数が5件を超える場合は、最後に設定した申請期間に受付けた者を次に掲げる優先順位により許可又は起業の

	<p>認可をする者を定める。ただし、同順位である者相互間の優先順位は抽選による。なお、規則第9条第1項第2号に該当する場合は、この限りでない。また、各順位の基準日は該当する申請期間の始期の前日とする。</p> <p>(1) 基準日において従前の当該漁業の許可を有していた者。ただし、当該順位の適用は、令和4年12月15日までに受付けた申請、かつ、有していた許可件数の範囲までとする。</p> <p>(2) 基準日において当該漁業の許可を有していた者から許可を承継し、許可を有していた船舶と同じ船舶にて当該漁業を営もうとする者。(従前の当該漁業の許可を有していた者が、この許可方針に基づく更新申請を行わないことに伴い許可を承継する場合を含む。)ただし、当該順位の適用は、許可を承継する者が、許可を譲渡する者と2親等以内の親族である場合に限る。</p> <p>(3) 基準日から過去5年間において当該漁業の許可(従前の許可を含む。)を有していたことがある者</p> <p>(4) 基準日において当該漁業以外の漁業の許可を有していた者</p> <p>(5) 上記(1)から(4)に該当しない者</p> <p>第5 条件</p> <p>1 操業区域は、所属する漁業協同組合が保有する共同漁業権漁場内。ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、所属する支所に関する共同漁業権漁場内に限る。</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>2 使用する漁具は、浮子方の長さ400メートル以内のものとする。</p> <p>3 夜間（日没から日の出まで）は、操業してはならない。</p>
--	----------------------------------------------------------------------------

固定式刺網漁業

雑魚固定式刺網漁業

現許可方針	更新許可方針（案）
<p>第1 制限措置</p> <p>(1) 漁業種類 雑魚固定式刺網漁業</p> <p>(2) 許可又は起業の認可をすべき船舶の数 30隻以内</p> <p>(3) 船舶の総トン数 制限なし</p> <p>(4) 推進機関の馬力数 制限なし</p> <p>(5) 操業区域 佐賀県玄海海域</p> <p>(6) 漁業時期 1月1日から12月31日まで</p> <p>(7) 漁業を営む者の資格</p> <p>① 旧浜玉町及び旧唐津市において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者。ただし、上記地区以外において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者については、松浦海区漁業調整委員会に諮り、漁業調整上支障がないと認められる場合に限り、同委員会が指定する区域での操業を認めることとする</p> <p>② 佐賀県の漁船原簿に登録されている船舶を使用する権利を有する者</p> <p>③ 佐賀県漁業調整規則（令和2年佐賀県規則第63号 令和2年11月27日公布。以下、「規則」とい</p>	<p>第1 制限措置</p> <p>(1) 漁業種類 雑魚固定式刺網漁業</p> <p>(2) 許可又は起業の認可をすべき船舶の数 30隻以内</p> <p>(3) 船舶の総トン数 制限なし</p> <p>(4) 推進機関の馬力数 制限なし</p> <p>(5) 操業区域 佐賀県玄海海域</p> <p>(6) 漁業時期 1月1日から12月31日まで</p> <p>(7) 漁業を営む者の資格</p> <p>① 旧浜玉町及び旧唐津市において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者。ただし、上記地区以外において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者については、松浦海区漁業調整委員会に諮り、漁業調整上支障がないと認められる場合に限り、同委員会が指定する区域での操業を認めることとする</p> <p>② 佐賀県の漁船原簿に登録されている船舶を使用する権利を有する者</p> <p>③ 佐賀県漁業調整規則（令和2年佐賀県規則第63号 令和2年11月27日公布。以下、「規則」とい</p>

<p>う。) 第10条第1項各号のいずれにも該当しない者</p> <p>④ 適切な資源管理を实践できる者</p> <p>⑤ 漁業の生産力の向上に努めようとする者</p> <p>第2 許可の有効期間 許可をした日から令和4年12月31日まで</p> <p>第3 申請すべき期間</p> <p>1 申請すべき期間（以下「申請期間」という。）は、規則第11条第1項に基づく公示をした日から次の開庁日までとする。</p> <p>2 申請期間に到着し、受付けた申請の数（以下「受付数」という。）と、申請期間の最終日において有効な許可又は起業の認可を受けている船舶の数を足した数（以下「合計数」という。）が、30件に到達しないときは、申請期間の最終日の次の開庁日を新たな申請期間として追加する。</p> <p>3 令和4年11月30日までの期間において合計数が30件に到達するまでは、最後に追加した申請期間の次の開庁日を更に新たな申請期間として追加することを繰り返す。ただし、最後に追加した申請期間より前の申請期間より前の申請期間に受付けたもののうち、許可若しくは不許可の処分又は申請の取下げをしたものについては、これを受付数から除く。</p>	<p>う。) 第10条第1項各号のいずれにも該当しない者</p> <p>④ 適切な資源管理を实践できる者</p> <p>⑤ 漁業の生産力の向上に努めようとする者</p> <p>第2 許可の有効期間 <u>令和5年1月1日から令和9年12月31日まで</u></p> <p>第3 申請すべき期間</p> <p>1 申請すべき期間（以下「申請期間」という。）は、<u>令和4年12月1日から令和4年12月15日までとする。</u></p> <p>2 申請期間に到着し、受付けた申請の数（以下「受付数」という。）と、申請期間の最終日において有効な許可又は起業の認可を受けている船舶の数を足した数（以下「合計数」という。）が、30件に到達しないときは、申請期間の最終日の次の開庁日を新たな申請期間として追加する。</p> <p>3 <u>令和4年12月15日</u>までの期間において合計数が30件に到達するまでは、最後に追加した申請期間の次の開庁日を更に新たな申請期間として追加することを繰り返す。ただし、最後に追加した申請期間より前の申請期間より前の申請期間に受付けたもののうち、許可若しくは不許可の処分又は申請の取下げをしたものについては、これを受付数から除く。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>4 合計数が30件に到達した日以降から令和4年11月30日までの期間において、廃業等の事由により残枠が生じた場合は、再度公示を行う。申請期間の取扱いは、上記1から3に同じ。</p> <p>第4 許可の基準</p> <p>第1(7)に定める資格を有し、第1(1)に定める漁業を営もうとする者。ただし、第1(2)に定める隻数を超える場合は、最後に設定した申請期間に受付けた者を定める。また、同順位である者相互間の優先順位は抽選による。なお、規則第9条第1項第2号に該当する場合は、この限りでない。</p> <p>(1) 許可を受けた者から、その許可の有効期間中に、許可を受けた船舶を譲り受け、その返還を受け、その他相続又は法人の合併若しくは分割以外の事由により当該船舶を使用する権利を取得して当該知事許可漁業を営もうとする者</p> <p>(2) 前回の許可の有効期間中に、当該知事許可漁業の許可を有していた者のうち、今回の許可の有効期間において当該知事許可漁業の許可又は起業の認可を受けていない者</p> <p>(3) 当該知事許可漁業以外の知事許可漁業の許可を現に有している者</p> <p>(4) 上記(1)～(3)に該当しない者。</p>	<p>4 合計数が30件に到達した日以降から<u>令和9年11月10日</u>までの期間において、廃業等の事由により残枠が生じた場合は、<u>新たな申請期間を追加する。申請期間は、規則第11条第1項に基づく公示をした日から10日間とする。ただし、10日後が閉庁日のときは、その次の閉庁日までを申請期間とする。</u> <u>また、これ以降の申請期間の取扱いは、上記3に同じ。</u></p> <p>第4 許可の基準</p> <p>(1) <u>合計数が30件を超える場合は、最後に設定した申請期間に受付けた者を次に掲げる優先順位により許可又は起業の認可をする者を定める。ただし、同順位である者相互間の優先順位は抽選による。なお、規則第9条第1項第2号に該当する場合は、この限りでない。また、各順位の基準日は該当する申請期間の始期の前日とする。</u></p> <p>(2) <u>基準日において従前の当該漁業の許可を有していた者。ただし、当該順位の適用は、令和4年12月15日までに受付けた申請、かつ、有していた許可件数の範囲までとする。</u></p> <p>(3) <u>基準日において当該漁業の許可を有していた者から許可を承継し、許可を有していた船舶と同じ船舶にて当該漁業を営もうとする者。(従前の当該漁業の許可を有していた者が、この許可方針に基づく更新申請を行わないことに伴い許可を承継する場合を含む。)</u>ただし、当該順位の適用は、<u>許可を承継する者が、許可を譲渡する者と2親</u></p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第5 条件

1 次のア、イ、ウ及びエの各点を順次に結んだ直線と最大高潮時海岸線とによって囲まれた区域外で操業してはならない。

ア 福岡県糸島市二丈串崎

イ 福岡県糸島市二丈町串崎と唐津市相賀崎を結んだ直線と、唐津市高島と福岡県糸島市志摩姫島を結んだ直線との交点

ウ 唐津市高島南東端

エ 唐津市東唐津「旧唐津シーサイドホテル東館」西角

2 共同漁業権漁場内で操業してはならない。

3 使用する網の総延長は1,500メートル（仕立上り）以下とする。

等以内の親族である場合に限る。

(4) 基準日から過去5年間に於いて当該漁業の許可（従前の許可を含む。）を有していたことがある者

(5) 基準日に於いて当該漁業以外の漁業の許可を有していた者

(6) 上記(1)から(5)に該当しない者

第5 条件

1 次のア、イ、ウ及びエの各点を順次に結んだ直線と最大高潮時海岸線とによって囲まれた区域外で操業してはならない。

ア 福岡県糸島市二丈串崎

イ 福岡県糸島市二丈町串崎と唐津市相賀崎を結んだ直線と、唐津市高島と福岡県糸島市志摩姫島を結んだ直線との交点

ウ 唐津市高島南東端

エ 唐津市東唐津「旧唐津シーサイドホテル東館」西角（緯度33°26'55" 経度129°59'26"）

2 共同漁業権漁場内で操業してはならない。

3 使用する網の総延長は1,500メートル（仕立上り）以下とする。

地びき網漁業	
地びき網漁業	
現行許可方針	更新許可方針（案）
<p>1 操業区域 所属する漁業協同組合が保有する共同漁業権漁場内。 ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、所属する支所に関する共同漁業権漁場内に限る。</p> <p>2 操業期間 1月1日から12月31日まで</p> <p>3 許可の有効期間 3年以内</p> <p>4 制限又は条件 (1)敷設した地びき網を漁船の動力を使用して曳網してはならない。 (2)夜間（日没から日の出まで）は、操業してはならない。 (3)十分な社会的信用を有しない者への許可は認めない。</p>	<p>第1 制限措置</p> <p>1 漁業種類 地びき網漁業</p> <p>2 許可又は起業の認可をすべき船舶の数 12隻</p> <p>3 船舶の総トン数 制限なし</p> <p>4 推進機関の馬力数 制限なし</p> <p>5 操業区域 佐賀県玄海海域</p> <p>6 漁業時期 1月1日から12月31日まで</p> <p>7 漁業を営む者の資格 (1)佐賀県において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者 (2)佐賀県の漁船原簿に登録されている船舶を使用する権利を有する者 (3)佐賀県漁業調整規則（令和2年佐賀県規則第63号。以下「規則」という。）第10条第1項各号のいずれにも該当しない者 (4)適切な資源管理を実践できる者 (5)漁業の生産力の向上に努めようとする者</p> <p>第2 許可の有効期間 令和5年1月1日から令和9年12月31日まで</p> <p>第3 申請すべき期間</p>

1 申請すべき期間（以下「申請期間」という。）は、令和4年12月1日から令和4年12月15日までとする。

2 申請期間に到着し、受付けた申請の数（以下「受付数」という。）が、12件に到達しないときは、申請期間の最終日の次の開庁日を新たな申請期間として追加する。

3 令和4年12月15日までの期間において、受付数と申請期間の最終日時時点で有効な許可又は起業の認可を受けている船舶の数を足した数（以下「合計数」という。）が12件に到達するまでは、最後に追加した申請期間の次の開庁日を更に新たな申請期間として追加することを繰り返す。ただし、最後に追加した申請期間より前の申請期間に受付けたもののうち、許可、起業の認可若しくは不許可の処分又は申請の取下げをしたものについては、これを受付数から除く。

4 合計数が12件に到達した日以降から令和9年11月10日までの期間において、廃業等の事由により残枠が生じた場合は、新たな申請期間を追加する。申請期間は、規則第11条第1項に基づく公示をした日から10日間とする。ただし、10日後が開庁日のときは、その次の開庁日までを申請期間とする。また、これ以降の申請期間の取扱いは、上記3に同じ。

第4 許可の基準

合計数が12件を超える場合は、最後に設定した申請期間に受付けた者を次に掲げる優先順位により許可又は起業の認可をする者を定める。ただし、同順位であ

る者相互間の優先順位は抽選による。なお、規則第9条第1項第2号に該当する場合は、この限りでない。また、各順位の基準日は該当する申請期間の始期の前日とする。

(1) 基準日において従前の当該漁業の許可を有していた者。ただし、当該順位の適用は、令和4年12月15日までに受付けた申請、かつ、有していた許可件数の範囲までとする。

(2) 基準日において当該漁業の許可を有していた者から許可を承継し、許可を有していた船舶と同じ船舶にて当該漁業を営もうとする者。(従前の当該漁業の許可を有していた者が、この許可方針に基づく更新申請を行わないことに伴い許可を承継する場合を含む。)ただし、当該順位の適用は、許可を承継する者が、許可を譲渡する者と2親等以内の親族である場合に限る。

(3) 基準日から過去5年間において当該漁業の許可(従前の許可を含む。)を有していたことがある者

(4) 基準日において当該漁業以外の漁業の許可を有していた者

(5) 上記(1)から(4)に該当しない者

第5 条件

1 所属する漁業協同組合が保有する共同漁業権漁場以外の共同漁業権漁場内で操業してはならない。ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、所属する支所に関する

	<p>共同漁業権漁場内に限る。</p> <p>2 敷設した地びき網を漁船の動力を使用して曳網してはならない。</p> <p>3 夜間（日没から日の出まで）は、操業してはならない。</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------

かご漁業	
いかかご漁業	
現行許可方針	更新許可方針（案）
<p>1 操業区域</p> <p>① 次のア、イ、ウ、エ及びオの各点を順次に結んだ直線と最大高潮時海岸線とによって囲まれた海域</p> <p>（関係地区：旧浜玉町）</p> <p>ア 佐賀、福岡両県県境にある包石（以下「包石」という。）</p> <p>イ 包石と長崎県壱岐市芦辺町中名島を結んだ直線と、福岡県糸島市二丈串崎と唐津市相賀96高地を結んだ直線との交点</p> <p>ウ 福岡県糸島市二丈串崎と唐津市相賀96高地を結んだ直線と、松浦瀬の中心から正北に引いた直線との交点</p> <p>エ 松浦瀬の中心</p> <p>オ 唐津市鏡山</p> <p>② 次のア、イ、ウ、エ、オ及びカの各点を順次に結んだ直線と最大高潮時海岸線とによって囲まれた海域</p> <p>（関係地区：唐津市高島）</p> <p>ア 唐津市高島南東端</p> <p>イ 松浦瀬の中心</p> <p>ウ 松浦瀬の中心から正北に引いた直線と、福岡県鹿家川川口</p>	<p>第1 制限措置</p> <p>1 漁業種類 いかかご漁業</p> <p>2 許可又は起業の認可をすべき船舶の数 5隻</p> <p>3 船舶の総トン数 制限なし</p> <p>4 推進機関の馬力数 制限なし</p> <p>5 操業区域 佐賀県玄海海域</p> <p>6 漁業時期</p> <p style="color: red;">（1）第5の1の操業区域 2月25日から6月30日まで</p> <p style="color: red;">（2）第5の2の操業区域 3月1日から7月31日まで</p> <p style="color: red;">（3）第5の1及び2以外の操業区域 2月1日から4月30日まで</p> <p>7 漁業を営む者の資格</p> <p>（1）旧浜玉町、旧唐津市又は旧呼子町のいずれかの地区において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者。又は、上記以外の地区において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者のうち、松浦海区漁業調整委員会に諮り、漁業調整上支障がないと認められた者</p> <p>（2）佐賀県の漁船原簿に登録されている船舶を使用する権利を有する者</p>

<p>中央 と唐津市唐房黒崎北側の石碑を結んだ直線との交点</p> <p>エ 唐津市唐房の第2号防波堤先端標柱灯と唐津市大島北端を結んだ直線の延長線と、唐津市大手口センタービルと唐津市鳥島西端を結んだ直線の延長線との交点</p> <p>オ 唐津市大島北端と唐津市高島北端を結んだ直線と、唐津市大手口センタービルと唐津市鳥島西端を結んだ直線の延長線との交点</p> <p>カ 唐津市高島北端</p> <p>③ 次のア、イ、ウ、エ、オ及びカの各点を順次に結んだ直線と最大高潮時海岸線とによって囲まれた海域、並びに包石と長崎県壱岐市芦辺町中名島を結んだ直線以東の筑肥漁場協議会で締結した操業協定に定められた海域 (関係地区：唐津市神集島)</p> <p>ア 唐津市神集島七丁田黒瀬の黒岩</p> <p>イ 唐津市神集島七丁田黒瀬の黒岩と福岡県糸島市志摩姫島南端を結んだ直線と、包石と長崎県壱岐市芦辺町中名島を結んだ直線との交点</p> <p>ウ 包石と長崎県壱岐市芦辺町中</p>	<p>(3) 佐賀県漁業調整規則(令和2年佐賀県規則第63号。以下「規則」という。)第10条第1項各号のいずれにも該当しない者</p> <p>(4) 適切な資源管理を実践できる者</p> <p>(5) 漁業の生産力の向上に努めようとする者</p> <p>第2 許可の有効期間 令和5年1月1日から令和9年12月31日まで</p> <p>第3 申請すべき期間</p> <p>1 申請すべき期間(以下「申請期間」という。)は、<u>令和4年12月1日から令和4年12月15日まで</u>とする。</p> <p>2 申請期間に到着し、受付けた申請の数(以下「受付数」という。)が、<u>5件</u>に到達しないときは、申請期間の最終日の次の開庁日を新たな申請期間として追加する。</p> <p>3 令和4年12月15日までの期間において、受付数と申請期間の最終日時点で有効な許可又は起業の認可を受けている船舶の数を足した数(以下「合計数」という。)が<u>5件</u>に到達するまでは、最後に追加した申請期間の次の開庁日を更に新たな申請期間として追加することを繰り返す。ただし、最後に追加した申請期間より前の申請期間に受付けたもののうち、許可、起業の認可若しくは不許可の処分又は申請の取下げをしたものについては、これを受付数から除く。</p> <p>4 合計数が<u>5件</u>に到達した日以降から令和9年11月10日までの期間において、廃業等の事由により残枠が生じた場</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>名島を結んだ直線と、唐津市呼子町鷹島頂上と福岡県糸島市志摩姫島北端を結んだ直線との交点</p> <p>エ 唐津市呼子町鷹島頂上と福岡県糸島市志摩姫島北端を結んだ直線と、唐津市湊町女瀬鼻東端と福岡県糸島市志摩烏帽子島灯台を結んだ直線との交点</p> <p>オ 唐津市湊町女瀬鼻東端と福岡県糸島市志摩烏帽子島灯台を結んだ直線と、唐津市高島西端と唐津市神集島西端を結んだ直線の延長線との交点</p> <p>カ 唐津市神集島北端</p> <p>④ 次のア、イ及びウの各点を順次に結んだ直線によって囲まれた海域、並びに包石と長崎県壱岐市芦辺町中名島を結んだ直線以東の筑肥漁場協議会で締結した操業協定に定められた海域 (関係地区：唐津市神集島、旧呼子町小友及び呼子)</p> <p>ア 包石と長崎県壱岐市芦辺町中名島を結んだ直線と、唐津市呼子町小川島南端と福岡県糸島市志摩仏崎先端を結んだ直線との交点</p> <p>イ 包石と長崎県壱岐市芦辺町中名島を結んだ直線と、唐津市</p>	<p>合は、新たな申請期間を追加する。申請期間は、規則第11条第1項に基づく公示をした日から10日間とする。ただし、10日後が閉庁日のときは、その次の開庁日までを申請期間とする。また、これ以降の申請期間の取扱いは、上記3に同じ。</p> <p>第4 許可の基準</p> <p>合計数が5件を超える場合は、最後に設定した申請期間に受付けた者を次に掲げる優先順位により許可又は起業の認可をする者を定める。ただし、同順位である者相互間の優先順位は抽選による。なお、規則第9条第1項第2号に該当する場合は、この限りでない。また、各順位の基準日は該当する申請期間の始期の前日とする。</p> <p>(1) 基準日において従前の当該漁業の許可を有していた者。ただし、当該順位の適用は、令和4年12月15日までに受付けた申請、かつ、有していた許可件数の範囲までとする。</p> <p>(2) 基準日において当該漁業の許可を有していた者から許可を承継し、許可を有していた船舶と同じ船舶にて当該漁業を営もうとする者。(従前の当該漁業の許可を有していた者が、この許可方針に基づく更新申請を行わないことに伴い許可を承継する場合を含む。)ただし、当該順位の適用は、許可を承継する者が、許可を譲渡する者と2親等以内の親族である場合に限る。</p> <p>(3) 基準日から過去5年間において当該漁業の許可(従前の許可を含む。)を有していたことがある者</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>土器崎北端から正北に引いた直線との交点</p> <p>ウ 唐津市呼子町小川島南端と福岡県糸島市志摩仏崎先端を結んだ直線と、唐津市土器崎北端から正北に引いた直線との交点</p> <p>⑤ 次のア、イ、ウ、エ、オ及びカの各点を順次に結んだ直線によって囲まれた海域 (関係地区：旧呼子町小友及び呼子)</p> <p>ア 唐津市呼子町加部島杉の浦北側防波堤先端標柱灯と同鷹島灯台を結んだ直線の延長線と、唐津市土器崎北端から正北に引いた直線との交点</p> <p>イ 唐津市土器崎北端から正北に引いた直線と、唐津市鎮西町馬渡島番所の辻と唐津市呼子町加部島北端を結んだ直線の延長線との交点</p> <p>ウ 唐津市呼子町鷹島灯台と同小川島猛山山頂を結んだ直線と、唐津市鎮西町馬渡島番所の辻と唐津市呼子町加部島北端を結んだ直線の延長線との交点</p> <p>エ 唐津市呼子町鷹島灯台と同小川島猛山山頂を結んだ直線と、唐津市土器崎北端と唐津</p>	<p>(4) 基準日において当該漁業以外の漁業の許可を有していた者</p> <p>(5) 上記(1)から(4)に該当しない者</p> <p>第5 条件</p> <p>1 旧浜玉町において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者は、次のア、イ、ウ、エ及びオの各点を順次に結んだ直線と最大高潮時海岸線とによって囲まれた海域以外の海域では操業してはならない。</p> <p>ア 佐賀、福岡両県県境にある包石(以下「包石」という。)</p> <p>イ 包石と長崎県壱岐市芦辺町中名島を結んだ直線と、福岡県糸島市二丈串崎と唐津市相賀96高地を結んだ直線との交点</p> <p>ウ 福岡県糸島市二丈串崎と唐津市相賀96高地を結んだ直線と、松浦瀬の中心から正北に引いた直線との交点</p> <p>エ 松浦瀬の中心</p> <p>オ 唐津市鏡山</p> <p>2 旧唐津市のうち高島地区において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者は、次のア、イ、ウ、エ、オ及びカの各点を順次に結んだ直線と最大高潮時海岸線とによって囲まれた海域以外の海域では操業してはならない。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

市鎮西町加唐島南端を結んだ直線との交点

オ 唐津市土器崎北端と唐津市鎮西町加唐島南端を結んだ直線と、唐津市呼子町友崎北端と同平瀬灯台を結んだ直線との交点

カ 唐津市呼子町友崎北端と同平瀬灯台を結んだ直線と、同加部島杉の浦北側防波堤先端標柱灯と同鷹島灯台を結んだ直線の延長線との交点

⑥ 次のア、イ及びウの各点を順次に結んだ直線によって囲まれた海域

(関係地区：旧呼子町呼子)

ア 唐津市鎮西町名護屋城山山頂と同加唐島南風崎を結んだ直線と、唐津市呼子町加部島天童岳と唐津市鎮西町松島西端を結んだ直線との交点

イ 唐津市鎮西町名護屋城山山頂と同加唐島南風崎を結んだ直線と、唐津市呼子町加部島北端と唐津市鎮西町波戸岬北端を結んだ直線との交点

ウ 唐津市呼子町加部島北端と唐津市鎮西町波戸岬北端を結んだ直線と、唐津市呼子町加部島天童岳と唐津市鎮西町松島西端を結んだ直線との交点

ア 唐津市高島南東端イ 松浦瀬の中心

ウ 松浦瀬の中心から正北に引いた直線と、福岡県鹿家川川口中央と唐津市唐房黒崎北側の石碑を結んだ直線との交点

エ 唐津市唐房の第2号防波堤先端標柱灯と唐津市大島北端を結んだ直線の延長線と、唐津市大手口センタービルと唐津市鳥島西端を結んだ直線の延長線との交点

オ 唐津市大島北端と唐津市高島北端を結んだ直線と、唐津市大手口センタービルと唐津市鳥島西端を結んだ直線の延長線との交点

カ 唐津市高島北端

3 旧唐津市のうち神集島地区において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者は、次の(1)ア、イ、ウ、エ、オ、オ及び(2)ア、イ、ウの各点を順次に結んだ直線と最大高潮時海岸線とによって囲まれた海域以外の海域は操業してはならない。

(1) ア 唐津市神集島七丁田黒瀬の黒岩

イ 唐津市神集島七丁田黒瀬の黒岩と福岡県糸島市志摩姫島南端を結んだ直線と、包石と長崎県

⑦ 次のア、イ、ウ及びエの各点を順次に結んだ直線によって囲まれた海域（関係地区：旧呼子町呼子）

ア 唐津市鎮西町波戸寺田川川口中央と同馬渡島南端を結んだ直線と、同畑崎と同松島西端を結んだ直線との交点

イ 唐津市鎮西町畑崎と同松島西端を結んだ直線と、唐津市呼子町加部島北端と唐津市鎮西町波戸岬北端を結んだ直線の延長線との交点

ウ 唐津市呼子町加部島北端と唐津市鎮西町波戸岬北端を結んだ直線の延長線と、同串崎西端と同松島西端を結んだ直線との交点

エ 唐津市鎮西町波戸寺田川川口中央と同馬渡島南端を結んだ直線と、同串崎西端と同松島西端を結んだ直線との交点

⑧ 所属する漁業協同組合が保有する共同漁業権漁場内

2 操業期間

1の①の操業区域は、2月25日から6月30日まで

1の②の操業区域は、3月1日から7月31日まで

1の①及び②以外の操業区域は、2月1日から4月30日まで

唐津市呼子町中名島を結んだ直線との交点

ウ 包石と長崎県唐津市呼子町中名島を結んだ直線と、唐津市呼子町鷹島頂上と福岡県糸島市志摩姫島北端を結んだ直線との交点

エ 唐津市呼子町鷹島頂上と福岡県糸島市志摩姫島北端を結んだ直線と、唐津市湊町女瀬鼻東端と福岡県糸島市志摩烏帽子島灯台を結んだ直線との交点

オ 唐津市湊町女瀬鼻東端と福岡県糸島市志摩烏帽子島灯台を結んだ直線と、唐津市高島西端と唐津市神集島西端を結んだ直線の延長線との交点

カ 唐津市神集島北端

(2) ア 包石と長崎県唐津市呼子町中名島を結んだ直線と、唐津市呼子町小川島南端と福岡県糸島市志摩仏崎先端を結んだ直線との交点

イ 包石と長崎県唐津市呼子町中名島を結んだ直線と、唐津市土器崎北端から正北に引いた直線との交点

ウ 唐津市呼子町小川島南端と福岡県糸島市志摩仏崎先端を結んだ直線と、唐津市土器崎北端から正北に引いた直線との交

<p>で</p> <p>3 許可の有効期間</p> <p>1 の①、②、⑤、⑥、⑦及び⑧の操業区域は、3年以内</p> <p>1 の③及び④の操業区域は、1年以内</p> <p>4 制限又は条件</p> <p>(1) 操業期間の制限</p> <p>1 の①の操業区域内では、包石と唐津市高島北端を結んだ直線より北の海域は、2月25日から4月30日まで、同直線より南の海域は、5月1日から6月30日までの操業とする。</p> <p>1 の②の操業区域内では、唐津市高島南東端から正北に引いた直線より東の海域は、3月1日から4月30日まで、同直線より西の海域は、5月1日から7月31日までの操業とする。</p> <p>(2) かご漬数の制限</p> <p>1 の①、②、③、④及び⑤の操業区域内は、120個以内とする。</p> <p>1 の⑥及び⑧の操業区域内は、100個以内とする。</p> <p>1 の⑦の操業区域内は、50個以内とする。</p> <p>(3) 漁具標識</p> <p>連結した幹縄の両端に、水面上</p>	<p>点</p> <p>4 旧唐津市のうち旧呼子町小友地区において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者は、次の</p> <p>(1) ア、イ、ウ及び(2) ア、イ、ウ、エ、オ、カの各点を順次に結んだ直線によって囲まれた海域以外の海域では操業してはならない。</p> <p>(1) ア 包石と長崎県壱岐市芦辺町中名島を結んだ直線と、唐津市呼子町小川島南端と福岡県糸島市志摩仏崎先端を結んだ直線との交点</p> <p>イ 包石と長崎県壱岐市芦辺町中名島を結んだ直線と、唐津市土器崎北端から正北に引いた直線との交点</p> <p>ウ 唐津市呼子町小川島南端と福岡県糸島市志摩仏崎先端を結んだ直線と、唐津市土器崎北端から正北に引いた直線との交点</p> <p>(2) ア 唐津市呼子町加部島杉の浦北側防波堤先端標柱灯と同鷹島灯台を結んだ直線の延長線と、唐津市土器崎北端から正北に引いた直線との交点</p> <p>イ 唐津市土器崎北端から正北に引いた直線と、唐津市鎮西町馬渡島番所の辻と唐津市呼子町加部島北端を結んだ直線の延長線との交点</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1メートル以上の高さの標識をつけ、かつ、幹縄の中間300メートル毎に浮標をつけなければならない。

(4) 十分な社会的信用を有しない者への許可は認めない。

ウ 唐津市呼子町鷹島灯台と同小川島猛山山頂を結んだ直線と、唐津市鎮西町馬渡島番所の辻と唐津市呼子町加部島北端を結んだ直線の延長線との交点

エ 唐津市呼子町鷹島灯台と同小川島猛山山頂を結んだ直線と、唐津市土器崎北端と唐津市鎮西町加唐島南端を結んだ直線との交点

オ 唐津市土器崎北端と唐津市鎮西町加唐島南端を結んだ直線と、唐津市呼子町友崎北端と同平瀬灯台を結んだ直線との交点

カ 唐津市呼子町友崎北端と同平瀬灯台を結んだ直線と、同加部島杉の浦北側防波堤先端標柱灯と同鷹島灯台を結んだ直線の延長線との交点

5 旧唐津市のうち旧呼子町呼子地区において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者は、次の(1)ア、イ、ウ及び(2)ア、イ、ウ、エ、オ、カ並び(3)ア、イ、ウ及び(4)ア、イ、ウ、エの各点を順次に結んだ直線によって囲まれた海域以外の海域では操業してはならない。

(1) ア 包石と長崎県壱岐市芦辺町中名島を結んだ直線と、唐津

市呼子町小川島南端と福岡県糸島市志摩仏崎先端を結んだ直線との交点

イ 包石と長崎県壱岐市芦辺町中名島を結んだ直線と、唐津市土器崎北端から正北に引いた直線との交点

ウ 唐津市呼子町小川島南端と福岡県糸島市志摩仏崎先端を結んだ直線と、唐津市土器崎北端から正北に引いた直線との交点

(2) ア 唐津市呼子町加部島杉の浦北側防波堤先端標柱灯と同鷹島灯台を結んだ直線の延長線と、唐津市土器崎北端から正北に引いた直線との交点

イ 唐津市土器崎北端から正北に引いた直線と、唐津市鎮西町馬渡島番所の辻と唐津市呼子町加部島北端を結んだ直線の延長線との交点

ウ 唐津市呼子町鷹島灯台と同小川島猛山山頂を結んだ直線と、唐津市鎮西町馬渡島番所の辻と唐津市呼子町加部島北端を結んだ直線の延長線との交点

エ 唐津市呼子町鷹島灯台と同小川島猛山山頂を結んだ直線と、唐津市土器崎北端と唐津市鎮西町加唐島南端を結んだ直線との交点

オ 唐津市土器崎北端と唐津市鎮西町加唐島南端を結んだ直線と、唐津市呼子町友崎北端と同平瀬灯台を結んだ直線との交点
カ 唐津市呼子町友崎北端と同平瀬灯台を結んだ直線と、同加部島杉の浦北側防波堤先端標柱灯と同鷹島灯台を結んだ直線の延長線との交点

(3) ア 唐津市鎮西町名護屋城山山頂と同加唐島南風崎を結んだ直線と、唐津市呼子町加部島天童岳と唐津市鎮西町松島西端を結んだ直線との交点

イ 唐津市鎮西町名護屋城山山頂と同加唐島南風崎を結んだ直線と、唐津市呼子町加部島北端と唐津市鎮西町波戸岬北端を結んだ直線との交点

ウ 唐津市呼子町加部島北端と唐津市鎮西町波戸岬北端を結んだ直線と、唐津市呼子町加部島天童岳と唐津市鎮西町松島西端を結んだ直線との交点

(4) ア 唐津市鎮西町波戸寺田川川口中央と同馬渡島南端を結んだ直線と、同畑崎と同松島西端を結んだ直線との交点

イ 唐津市鎮西町畑崎と同松島西端を結んだ直線と、唐津市呼子町加部島北端と唐津市鎮西

町波戸岬北端を結んだ直線の延長線との交点

ウ 唐津市呼子町加部島北端と唐津市鎮西町波戸岬北端を結んだ直線の延長線と、同串崎西端と同松島西端を結んだ直線との交点

エ 唐津市鎮西町波戸寺田川川口中央と同馬渡島南端を結んだ直線と、同串崎西端と同松島西端を結んだ直線との交点

6 所属する漁業協同組合が保有する共同漁業権漁場内

7 1及び2の操業区域においては①、②のとおり操業期間を制限する。

① 1の操業区域内では、包石と唐津市高島北端を結んだ直線より北の海域は、2月25日から4月30日まで、同直線より南の海域は、5月1日から6月30日までの操業とする。

② 2の操業区域内では、唐津市高島南東端から正北に引いた直線より東の海域は、3月1日から4月30日まで、同直線より西の海域は、5月1日から7月31日までの操業とする。

8 操業区域内に設置できるかごの数量は①から③のとおりとする。

	<p>なお、異なる海域で設置する場合においても、かごの上限は120個以内とする。</p> <p>① 1、2、3(1)、3(2)、4(1)、5(1)の作業区域：120個以内</p> <p>② 4(2)、5(2)、5(4)の作業区域：100個以内</p> <p>③ 5(3)の作業区域：50個以内</p> <p>9 連結した幹繩の両端に、水面上1メートル以上の高さの標識をつけ、かつ、幹繩の中間300メートル毎に浮標をつけなければならない。</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

かご漁業	
その他のかご漁業	
現行許可方針	更新許可方針（案）
<p>第1 制限措置</p> <p>(1) 漁業種類 その他のかご漁業（ばいかご漁業、かにかご漁業、ぼらかご漁業、ふぐかご漁業の4種類とする。）</p> <p>(2) 許可又は起業の認可をすべき船舶の数 50隻以内</p> <p>(3) 船舶の総トン数 制限措置なし</p> <p>(4) 推進機関の馬力数 制限措置なし</p> <p>(5) 操業区域 佐賀県玄海海域</p> <p>(6) 漁業時期 1月1日から12月31日まで</p> <p>(7) 漁業を営む者の資格</p> <p>① 佐賀県において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者。</p> <p>② 佐賀県の漁船原簿に登録されている船舶を使用する権利を有する者</p> <p>③ 佐賀県漁業調整規則（令和2年佐賀県規則第63号 令和2年11月27日公布。以下、「規則」という。）第10条第1項各号のいずれにも該当しない者</p>	<p>第1 制限措置</p> <p>(1) 漁業種類 <u>（4種類）</u> <u>ばいかご漁業</u> <u>かにかご漁業</u> <u>ぼらかご漁業</u> <u>ふぐかご漁業</u></p> <p>(2) 許可又は起業の認可をすべき船舶の数 50隻以内</p> <p>(3) 船舶の総トン数 制限措置なし</p> <p>(4) 推進機関の馬力数 制限措置なし</p> <p>(5) 操業区域 佐賀県玄海海域</p> <p>(6) 漁業時期 1月1日から12月31日まで</p> <p>(7) 漁業を営む者の資格</p> <p>① 佐賀県において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者。</p> <p>② 佐賀県の漁船原簿に登録されている船舶を使用する権利を有する者</p> <p>③ 佐賀県漁業調整規則（令和2年佐賀県規則第63号 令和2年11月27日公布。以下、「規則」という。）第10条第1項各号のいずれにも該当しない者</p>

<p>④ 適切な資源管理を実践できる者</p> <p>⑤ 漁業の生産力の向上に努めようとする者</p> <p>第2 許可の有効期間 許可をした日から令和4年12月31日まで</p> <p>第3 申請すべき期間</p> <p>1 申請すべき期間（以下「申請期間」という。）は、規則第11条第1項に基づく公示をした日から次の開庁日までとする。</p> <p>2 申請期間に到着し、受付けた申請の数（以下「受付数」という。）と、申請期間の最終日において有効な許可又は起業の認可を受けている船舶の数を足した数（以下「合計数」という。）が、50件に到達しないときは、申請期間の最終日の次の開庁日を新たな申請期間として追加する。</p> <p>3 令和4年11月30日までの期間において合計数が50件に到達するまでは、最後に追加した申請期間の次の開庁日を更に新たな申請期間として追加することを繰り返す。ただし、最後に追加した申請期間より前の申請期間より前の申請期間に受付けたもののうち、許可若しくは不許可の処分又は申請の取下げをしたものについては、これを受付数から除く。</p>	<p>④ 適切な資源管理を実践できる者</p> <p>⑤ 漁業の生産力の向上に努めようとする者</p> <p>第2 許可の有効期間 <u>令和5年1月1日から令和9年12月31日まで</u></p> <p>第3 申請すべき期間</p> <p>1 <u>申請すべき期間（以下「申請期間」という。）は、令和4年12月1日から令和4年12月15日までとする。</u></p> <p>2 <u>申請期間に到着し、受付けた申請の数（以下「受付数」という。）が、50件に到達しないときは、申請期間の最終日の次の開庁日を新たな申請期間として追加する。</u></p> <p>3 <u>令和4年12月15日までの期間において、受付数と申請期間の最終日時点で有効な許可又は起業の認可を受けている船舶の数を足した数（以下「合計数」という。）が50件に到達するまでは、最後に追加した申請期間の次の開庁日を更に新たな申請期間として追加することを繰り返す。ただし、最後に追加した申請期間より前の申請期間に受付けたもののうち、許可、起業の認可若しくは不許可の処分又は申請の取下げをしたものについては、これを受付数から除く。</u></p> <p>4 <u>合計数が50件に到達した日以降から</u></p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- 4 合計数が50件に到達した日以降から令和4年11月30日までの期間において、廃業等の事由により残枠が生じた場合は、再度公示を行う。申請期間の取扱いは、上記1から3に同じ。

第4 許可の基準

第1(7)に定める資格を有し、第1(1)に定める漁業を営もうとする者。ただし、第1(2)に定める隻数を超える場合は、最後に設定した申請期間に受付けた者を定める。また、同順位である者相互間の優先順位は抽選による。なお、規則第9条第1項第2号に該当する場合は、この限りでない。

- (1) 許可を受けた者から、その許可の有効期間中に、許可を受けた船舶を譲り受け、その返還を受け、その他相続又は法人の合併若しくは分割以外の事由により当該船舶を使用する権利を取得して当該知事許可漁業を営もうとする者
- (2) 前回の許可の有効期間中に、当該知事許可漁業の許可を有していた者
のうち、今回の許可の有効期間において当該知事許可漁業の許可又

令和9年11月10日までの期間において、廃業等の事由により残枠が生じた場合は、新たな申請期間を追加する。申請期間は、規則第11条第1項に基づく公示をした日から10日間とする。ただし、10日後が閉庁日のときは、その次の開庁日までを申請期間とする。また、これ以降の申請期間の取扱いは、上記3に同じ。

第4 許可の基準

合計数が50件を超える場合は、最後に設定した申請期間に受付けた者を次に掲げる優先順位により許可又は起業の認可をする者を定める。ただし、同順位である者相互間の優先順位は抽選による。なお、規則第9条第1項第2号に該当する場合は、この限りでない。また、各順位の基準日は該当する申請期間の始期の前日とする。

- (1) 基準日において従前の当該漁業の許可を有していた者。ただし、当該順位の適用は、令和4年12月15日までに受付けた申請、かつ、有していた許可件数の範囲までとする。
- (2) 基準日において当該漁業の許可を有していた者から許可を承継し、許可を有していた船舶と同じ船舶にて当該漁業を営もうとする者。(従前の当該漁業の許可を有していた者が、この許可方針

<p>は起業の認可を受けていない者</p> <p>(3) 当該知事許可漁業以外の知事許可漁業の許可を現に有している者</p> <p>(4) 上記(1)～(3)に該当しない者。</p> <p>第5 条件</p> <p>1 所属する漁業協同組合が保有する共同漁業権漁場(ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、所属する支所に関する共同漁業権漁場)以外の共同漁業権漁場内で操業してはならない。</p> <p>2 幹縄の両端に、水面1メートル以上の高さの標識をつけ、かつ、幹縄の中間300メートル毎に浮標をつけなければならない。</p>	<p>に基づく更新申請を行わないことに伴い許可を承継する場合を含む。)ただし、当該順位の適用は、許可を承継する者が、許可を譲渡する者と2親等以内の親族である場合に限る。</p> <p>(3) 基準日から過去5年間において当該漁業の許可(従前の許可を含む。)を有していたことがある者</p> <p>(4) 基準日において当該漁業以外の漁業の許可を有していた者</p> <p>(5) 上記(1)から(4)に該当しない者</p> <p>第5 条件</p> <p>1 操業区域は、所属する漁業協同組合が保有する共同漁業権漁場内。ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、所属する支所に関する共同漁業権漁場内に限る。</p> <p>2 幹縄の両端に、水面1メートル以上の高さの標識をつけ、かつ、幹縄の中間300メートル毎に浮標をつけなければならない。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

たこつぼ漁業	
延縄式たこつぼ漁業	
現行許可方針	更新許可方針（案）
<p>1 操業区域 佐賀県海域</p> <p>2 操業期間 1月1日から12月31日まで</p> <p>3 許可の有効期間 3年以内</p> <p>4 制限又は条件</p> <p>(1) 所属する漁業協同組合が保有する共同漁業権漁場（ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、所属する支所に関する共同漁業権漁場）以外の共同漁業権漁場内で操業してはならない。</p> <p>(2) 漁具は20条以内とし、つば数は1条につき100個以内とする。</p> <p>(3) 幹縄の両端に、水面1メートル以上の高さの標識をつけ、かつ、幹縄の中間300メートル毎に浮標をつけなければならない。</p> <p>(4) 十分な社会的信用を有しない者への許可は認めない。</p>	<p>第1 制限措置</p> <p>1 漁業種類 延縄式たこつぼ漁業</p> <p>2 許可又は起業の認可をすべき船舶の数 15隻</p> <p>3 船舶の総トン数 制限なし</p> <p>4 推進機関の馬力数 制限なし</p> <p>5 操業区域 佐賀県玄海海域</p> <p>6 漁業時期 1月1日から12月31日まで</p> <p>7 漁業を営む者の資格</p> <p>(1) 佐賀県において漁港機能を有する施設を拠点として漁業を営もうとする者</p> <p>(2) 佐賀県の漁船原簿に登録されている船舶を使用する権利を有する者</p> <p>(3) 佐賀県漁業調整規則（令和2年佐賀県規則第63号。以下「規則」という。）第10条第1項各号のいずれにも該当しない者</p> <p>(4) 適切な資源管理を実践できる者</p> <p>(5) 漁業の生産力の向上に努めようとする者</p> <p>第2 許可の有効期間 令和5年1月1日から令和9年12月31日まで</p> <p>第3 申請すべき期間</p>

1 申請すべき期間（以下「申請期間」という。）は、令和4年12月1日から令和4年12月15日までとする。

2 申請期間に到着し、受付けた申請の数（以下「受付数」という。）が、15件に到達しないときは、申請期間の最終日の次の開庁日を新たな申請期間として追加する。

3 令和4年12月15日までの期間において、受付数と申請期間の最終日時点で有効な許可又は起業の認可を受けている船舶の数を足した数（以下「合計数」という。）が15件に到達するまでは、最後に追加した申請期間の次の開庁日を更に新たな申請期間として追加することを繰り返す。ただし、最後に追加した申請期間より前の申請期間に受付けたもののうち、許可、起業の認可若しくは不許可の処分又は申請の取下げをしたものについては、これを受付数から除く。

4 合計数が15件に到達した日以降から令和9年11月10日までの期間において、廃業等の事由により残枠が生じた場合は、新たな申請期間を追加する。申請期間は、規則第11条第1項に基づく公示をした日から10日間とする。ただし、10日後が開庁日のときは、その次の開庁日までを申請期間とする。また、これ以降の申請期間の取扱いは、上記3に同じ。

第4 許可の基準

合計数が15件を超える場合は、最後に設定した申請期間に受付けた者を次に掲げる優先順位により許可又は起業の認可

をする者を定める。ただし、同順位である者相互間の優先順位は抽選による。なお、規則第9条第1項第2号に該当する場合は、この限りでない。また、各順位の基準日は該当する申請期間の始期の前日とする。

- (1) 基準日において従前の当該漁業の許可を有していた者。ただし、当該順位の適用は、令和4年12月15日までに受付けた申請、かつ、有していた許可件数の範囲までとする。
- (2) 基準日において当該漁業の許可を有していた者から許可を承継し、許可を有していた船舶と同じ船舶にて当該漁業を営もうとする者。（従前の当該漁業の許可を有していた者が、この許可方針に基づく更新申請を行わないことに伴い許可を承継する場合を含む。）ただし、当該順位の適用は、許可を承継する者が、許可を譲渡する者と2親等以内の親族である場合に限る。
- (3) 基準日から過去5年間に於いて当該漁業の許可（従前の許可を含む。）を有していたことがある者
- (4) 基準日において当該漁業以外の漁業の許可を有していた者
- (5) 上記（1）から（4）に該当しない者

第5 条件

1 操業区域は、所属する漁業協同組合が保有する共同漁業権漁場内。ただし、佐賀玄海漁業協同組合においては、所属する支所に関する共同漁業権漁場内に限る。

	<p>2 漁具は20条以内とし、つぼ数は1条につき100個以内とする。</p> <p>3 幹縄の両端に、水面1メートル以上の高さの標識をつけ、かつ、幹縄の中間300メートル毎に浮標をつけなければならない。</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------

水産第 3276 号
令和 4 年(2022 年)11 月 8 日

松浦海区漁業調整委員会
会長 川寄 和正 様

佐賀県知事 山口 祥



法第 90 条第 2 項に基づく資源管理の状況等の報告及び法第 91 条第 1 項に基づく指導について (諮問)

漁業法(昭和 24 年法律第 267 号)第 90 条第 1 項の規定に基づき資源管理の状況等の報告があったので、同条第 2 項の規定に基づき貴委員会に報告します。

また、同法第 91 条第 1 項の規定に基づき、指導を行いたいので、同条第 3 項の規定に基づき貴委員会に諮問します。

(担当：農林水産部 水産課 漁業調整担当 寺田・川崎)
TEL:0952-25-7145

共同除染費 (円/㎡)	汚染地 面積(㎡)	汚染地 種別	汚染地 名称	あ び び	と ぶ し	こ え	さ え	ば い	な い	に い	あ り	は ま	も い	あ が	か い	あ い	こ い	た い	い い	う に	な ま	た こ	あ む	あ り	あ り	て ん	え の	か し	し め	か め						
				12/23 ※10/31	1/1 12/31	1/1 12/31	1/1 12/31	1/1 12/31	1/1 12/31	1/1 12/31	1/1 12/31	1/1 12/31	1/1 12/31	6/1 8/31	11/1 9/31	1/1 12/31	10/1 9/31	1/1 12/31	1/1 12/31	1/1 12/31	2/1 6/30	10/1 9/30	11/1 9/31	10/1 9/30	10/1 9/30	2/1 9/30	4/1 8/31	12/1 9/31	10/1 9/31	1/1 12/31						
1	13	1	4			2	3	6	269																											
2	9	4	57			4	60	7	347	1	3																									
3	51	5	9			6	13																													
24	26	4	21			2	20	1	1	2	3																									
6	32	10	98 (152)			10	120(148)	3	36	4	4(21)																									
7	54	7	35			10	98	3	8																											
8						15	429	15	100	15	100	0	0	15	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
9	18					1	1																													
10	102	2	39			3	47																													
11	62	16	31 (68)			16	56(120)	1	(20)																											
12	112	9	315	9	365	9	365	9	365	9	365																									
13	65	9	57			9	223																													
14	29	4	46			4	12																													
15	23	2	38			3	78																													
16	54	7	38			10	65																													
17	69	23	97			19	208																													
18	6	2	36			4	78																													
19	64	6	510	6	510	6	510	6	510	6	510																									
20	38	5	1			7	7																													
21	102	8	46			12	212																													
22						0	0	0	0	0	0																									
23	31					10	32	5	12																											

注1: ()内は除染の概算値による 注2: 異なる除染の都合【 】にて分界

共同漁業権内容一覧表 [松浦海区]

第二種

免許番号 (松共)	漁業の名称	雄魚小型定置網		いか小型定置網		雄魚磯建網		ぶりの建網		かまじ建網		いか敷網		ぼら網		いか網		うなぎ網		くろだ網		かに網		しろおやな		しろおやな		ぼら網	
		行使数	延操日	行使数	延操日	行使数	延操日	行使数	延操日	行使数	延操日	行使数	延操日	行使数	延操日	行使数	延操日	行使数	延操日	行使数	延操日	行使数	延操日	行使数	延操日	行使数	延操日	行使数	延操日
1	浜崎	2		7	317	10		3		1	39	1	4	5	10	4	298												
2	満島	2		2		2		2		2	71	3	272	3															
3	高島	2	350	2	88	7		4		3	6	3	6	6															
24	唐房・妙見	1	30	1	6	6		1	13	1	13	6	6	6															
6	相賀	2	239	1	8	3	107	5		1	2	0	0	0	0	0	1	29											
7	神集島	1	210	2	55	0	0	0		20	30	0	0	0	0	0	1	10											
8	湯浜・湯園	3	393	0	0	0	0	0		8																			
8	【屋形石】	10		18		1	68	4		7																			
9	小女(呼子町、呼子町浦方)	1	40	2	116	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0											
10	呼子町、呼子町浦方	2	4	1	43	0	0	0		1	5	5	5	5	2	24	5												
11	加部島、片島本郷	2	0	0	0	0	0	0																					
12	小川島	0	0	0	0	0	0	0		1																			
13	名護屋、名護屋園	1	107	10		10		10																					
14	波戸	4	298	1	9	2		2																					
15	串(名護屋、名護屋園)	5	612	1	7	15	13	3		5	5	5	5	5	2	24	5												
16	加部島	1	101	3	187	1	46	3	12	1	5	1	5	2	24	5													
17	馬渡島	1	1	4	379	20																							
18	外津【串】	1	20	1	80	10		5																					
19	飯屋	3	200	1	90	10		5		5	5	5	5	20	20	10	10												
20	肥前(牟形、岩津、京泊)	8	142	3	142	2		4		3	3	3	3	3	3	3	3												
21	肥前(星賀、敷竹、向島、晴梨)、高串	2	101	1	116	4	116			5	5	5	5	5	5	5	5												
22	大浦底	6	770	16		4	145			0	0	1	19	16	16	16	16												
23	波多津	4	145	4	145	4	145			1	5	1	5	16	16	16	16												

第三種

免許番号	漁業の名称	行使数	延操日
	ぼら網		
	しろおやな		
	しろおやな		
	かに網		
	くろだ網		
	うなぎ網		
	あなこ網		
	ばい網		
	いか網		
	ぼら網		
	いか敷網		
	かまじ建網		
	ぶりの建網		
	雄魚磯建網		
	いか小型定置網		
	雄魚小型定置網		

共同漁業権内容一覧表 [松浦海区]
第一種

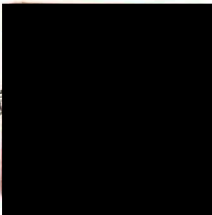
免許番号(松共)	漁船名	地区	第1種共同漁業権		第2種・第3種共同漁業権		水揚量	漁場保全等の取組
			水揚量(kg)	水揚量(kg)				
1	佐賀玄海	浜崎	ばい3,528.0 kg たこ361.5 kg あわび16.0 kg	わかめ594.0 kg ささえ 30.0 kg なまこ 5.0 kg	貝類3,591.5kg いか1,926.0kg さわら1,925.2kg かに408.0kg すずき406.0kg	海面・海底清掃 クロマングロ混獲回避活動		
			ばい2,145.5 kg たこ66.0 kg なまこ80.0 kg あかいかい10.5 kg ささえ10.0 kg		海面・海底清掃 海底耕耘 クロマングロ混獲回避活動			
3	佐賀玄海	高島	ばい10,718.0 kg あわび285.5 kg なまこ205.0 kg うに0.3 kg	ささえ1,050.0 kg たこ254.0 kg にな24.0 kg	あじ218,369.0kg さび69,232.0kg さわら22,560.8kg たちまち12,830.0kg 貝類9,494.0kg	海面・海底清掃 海底耕耘 クロマングロ混獲回避活動		
			なまこ1,980.0 kg わかめ1,066.0 kg ささえ370.0 kg たこ121.5 kg あわび44.0 kg		海面・海底清掃 海底耕耘 クロマングロ混獲回避活動			
6	佐賀玄海	相賀	ひじき738.0 kg ささえ350.0 kg あわび140.0 kg にな40.0 kg うに17.3 kg	たこ102.0 kg なまこ190.0 kg もすく66.5 kg わかめ28.0 kg はい7.0 kg	あじ13,406.0kg さび4,176.0kg いか3,218.0kg アイゴ1,620.0kg さわら1,611.2kg	海面・海底清掃 海底耕耘 クロマングロ混獲回避活動		
			ささえ2,611.3 kg あわび966.3 kg はい150.5 kg ふのかかり7.5kg なまこ39.0 kg	たこ1,681.5 kg ひじき336.1kg うに128.8 kg にな40.0 kg	海面・海底清掃 クロマングロ混獲回避活動			
8	佐賀玄海	湊浜、湊岡	ささえ2,100.0 kg あわび92.0 kg たこ38.0 kg	うに104.0 kg なまこ40.0 kg はい10.5 kg	たい244.0kg はた181.9kg かき154.0kg めじな125.0kg いさぎ73.5kg	海面・海底清掃 海底耕耘 クロマングロ混獲回避活動		
			5,500		種苗放流 食害生物(ガンガゼ)駆除			
9	佐賀玄海	小友、(呼子町、呼子町浦方)	たこ106.5 kg うに10.2 kg(359.0) なまこ(100.0)	あわび(90.0kg) ささえ10.0 kg(230.0) ひじき(8.0)	めじな4,815.0kg いか808.0kg いしだい191.7kg すずき175.0kg あじ164.0kg	海面・海底清掃 ガンガゼ駆除 クロマングロ混獲回避活動		
			ささえ800.0 kg あわび168.0 kg うに65.0 kg にな8.0 kg	かじめ184.4 kg なまこ150.0 kg たこ14.0 kg	海面・海底清掃 ガンガゼ駆除 クロマングロ混獲回避活動			
11	佐賀玄海	加那島、片島本部	ささえ3,810.0 kg(4,380.0) ひじき248.5 kg たこ159.0 kg わかめ(200.0)	うに307.1 kg(566.0) あわ 192.0 kg(4,732.0) なまこ10.0 kg(230.0) にな(50.0)	いか2,887.5kg すずき1,051.0kg あじ948.0kg ひらすず197.0kg めじな140.0kg (定置網の総量は漁戸漁業者による操業だが、うちいか・あじは按分が困難であるためすべて漁戸実績で計上)	海面・海底清掃 ガンガゼ駆除 クロマングロ混獲回避活動		

12	小川島	小川島	<ul style="list-style-type: none"> ・とこぶし 1,152.00kg ・あわび 392.53kg ・さざえ 126.40kg ・うに (わらさき) 3.92kg ・うに (はふん) 0.66kg 	<ul style="list-style-type: none"> ・なまこ 1,00kg ・ひじき (ながひじき) 15.62kg ・ひじき (めひじき) 1.10kg ・ふのり 249.79kg 	0kg	<ul style="list-style-type: none"> ・食害生物 (がんがせ) 駆除 (磯根) ・種苗放流 ・藻類の保全 (ヒジキの競合生物除去) (磯根) ・養殖場の設営 (あわび、なまこ、わかめ、ふのり、ひじき) ・密漁監視 (11月～12月・21回) (磯根) ・漁獲サイズ規制 (シロアワビ10センチ未満漁獲禁止) (磯根)
13	佐賀玄海	名護屋、名護屋	<ul style="list-style-type: none"> さざえ 3,881.0 kg あわび 960.0 kg なまこ 350.0 kg かじめ 72.0 kg 	<ul style="list-style-type: none"> たこ 1,420.0 kg あわび 995.3 kg うに 228.5 kg 	<ul style="list-style-type: none"> いかに 2,639.0 kg あじ 764.0 kg すずき 413.0 kg ひらすず 295.9 kg とひらお 279.2 kg 	<ul style="list-style-type: none"> 海面・海底清掃 ガンガゼ駆除 クロマクロ混獲回避活動
14	佐賀玄海	波戸	<ul style="list-style-type: none"> あわび 839.1 kg さざえ 248.0 kg たこ 131.5 kg うに 74.1 kg なまこ 5.0 kg 	<ul style="list-style-type: none"> あじ 15,583.8kg いかに 10,989.0kg めじな 3,250.0kg しいし 1,985.0kg さば 1,781.5kg 	<ul style="list-style-type: none"> 海面・海底清掃 ガンガゼ駆除 クロマクロ混獲回避活動 	
15	佐賀玄海	串 (名護屋、名護屋間)	<ul style="list-style-type: none"> さざえ 1,540.0 kg なまこ 210.0 kg あわび 167.2 kg うに 86.8 kg たこ 14.0 kg 	<ul style="list-style-type: none"> あじ 46,620.0kg いかに 25,322.6kg さば 1,301.0kg かます 1254.8kg ひらすず 792.1kg 	<ul style="list-style-type: none"> 海面・海底清掃 ガンガゼ駆除 クロマクロ混獲回避活動 	
16	佐賀玄海	加唐島	<ul style="list-style-type: none"> さざえ 1,620.0 kg たこ 240.0 kg なまこ 210.0 kg 	<ul style="list-style-type: none"> たこ 1,495.2 kg あわび 322.6 kg うに 4.9 kg 	<ul style="list-style-type: none"> あじ 1486.9kg たい 790.5kg かさこ 675.3kg ひらすず 634.4kg 	<ul style="list-style-type: none"> 海面・海底清掃 ガンガゼ駆除 クロマクロ混獲回避活動
17	佐賀玄海	野渡島	<ul style="list-style-type: none"> さざえ 3,385.0 kg たこ 2,418.0 kg なまこ 496.0 kg うに 84.0 kg 	<ul style="list-style-type: none"> なまこ 6,385.0 kg あわび 667.9 kg あさり 170.0 kg ふのり 75.2 kg 	<ul style="list-style-type: none"> かます 43,264.0kg さむら 384.7kg あじ 380.0kg わかさ 312.8kg にこたい 287.2kg 	<ul style="list-style-type: none"> 海面・海底清掃 ガンガゼ駆除 クロマクロ混獲回避活動
18	外津	外津・【串】	640	<ul style="list-style-type: none"> たこ 1,495.2 kg あわび 322.6 kg うに 4.9 kg 	176	<ul style="list-style-type: none"> 種苗放流 食害生物 (ガンガゼ) の駆除
19	飯屋	飯屋・【外津】	<ul style="list-style-type: none"> あわび 220kg さざえ 4,00kg うに 520kg なまこ 490kg その他貝類 1,100kg 	<ul style="list-style-type: none"> ぶり類 650kg まだい 80kg たこ 50kg その他魚類 1,550kg 	<ul style="list-style-type: none"> 種苗放流 養殖防漁 食害生物 (ガンガゼ) の駆除 	
20	佐賀玄海	肥前 (牟婁、昔津、京泊)	<ul style="list-style-type: none"> たこ 199.0 kg さざえ 80.0 kg なまこ 5.0 kg あわび 4.0 kg 	<ul style="list-style-type: none"> あじ 3,710.0 kg いかに 2,784.5 kg たこ 1,262.0 kg ひらすず 953.8 kg すずき 892.5 kg 	<ul style="list-style-type: none"> 海面・海底清掃 ガンガゼ駆除 クロマクロ混獲回避活動 	
21	佐賀玄海	肥前 (早賀、駄竹、向島、暗気)、高串	<ul style="list-style-type: none"> さざえ 4,540.0 kg たこ 544.0 kg ひじき 180.0 kg なまこ 85.0 kg 	<ul style="list-style-type: none"> たこ 2,809.8 kg あわび 216.0 kg うに 105.6 kg 	<ul style="list-style-type: none"> あじ 4,030.5 kg いかに 431.5 kg ぼら 1,124.0 kg たい 1,033.4 kg すずき 1,049.5 kg 	<ul style="list-style-type: none"> 海面・海底清掃 ガンガゼ駆除 クロマクロ混獲回避活動
22	大浦浜	大浦浜			<ul style="list-style-type: none"> 青ナマコ 10-20mm 36,000尾 青ナマコ 10-20mm 36,000尾 青ナマコ 10-20mm 30,000尾 青ナマコ 10-20mm 40,000尾 漂流・漂着物・堆積物の処理 (海底清掃・2/8～2/12) 漂流・漂着物・堆積物の処理 (海面清掃・8/26～8/28) 	
23	佐賀玄海	渡多津	<ul style="list-style-type: none"> なまこ 65.0 kg たこ 56.0 kg あさり 20.0 kg 	<ul style="list-style-type: none"> ・カニ 375kg (573kg) ・紋甲イカ 240kg ・フグ 181kg (188kg) ・コウイカ 76kg ・オコゼ 38.8kg (56.5kg) ・カブ 35.0kg (52.5kg) 	<ul style="list-style-type: none"> 海面・海底清掃 ガンガゼ駆除 クロマクロ混獲回避活動 	

水産第3426号
令和4年11月18日

松浦海区漁業調整委員会
会長 川崎和正 様

佐賀県知事 山口 祥義



呼子町統括支所におけるコンブ試験養殖について（協議）

このことについて、別紙のとおり佐賀玄海漁業協同組合から申請がありましたので、試験養殖処理要綱第4条の規定により貴委員会の意見を求めます。

担当：農林水産部水産課漁業調整担当
電話：0952-25-7145

試験養殖承認申請書

令和4年11月15日

佐賀県知事 山口 祥義 様

佐賀県唐津市海岸通71
佐賀玄海漁業協同組合
代表理事組合長 川崎

下記のとおり試験養殖の承認を受けたいので、申請いたします。

記

- 1 目的 コンブ養殖試験（ロープ延縄式）
- 2 水産物の名称 コンブ
- 3 漁場の位置及び区域並びに面積
唐津市呼子町呼子地先
計500㎡（別紙1を参照）
- 4 試験養殖期間 試験養殖の承認日より令和5年6月30日
- 5 養殖の方法及び規模
方法；ロープ延縄式
規模；10m×50m=500㎡ 1箇所（別紙2参照）
30mの養殖ロープが2本

添付資料

- (1) 理由書
- (2) 養殖試験計画書
- (3) 漁場位置及び区域図（別紙1）

理由書

佐賀県玄海漁業協同組合呼子町統括支所・呼子地区（以下、呼子地区）の主な漁業種類は、はえ縄漁業・イカ釣り漁業・一本釣り漁業である。

しかしながら、呼子地区においても、漁業を取り巻く環境は年々厳しさを増し、資源の減少、魚価の低迷、後継者不足、漁業者の高齢化など、様々な問題を抱えており、特に、漁業者数と後継者不足は悪化する一方である。

さらに、冬季は時化が多くなり、出漁日数そのものが減少することから、安定した収入確保、収益向上のための方策の検討が喫緊の課題となってきた。

そこで、現在、同支所同地区では漁家収入の改善を図るため、イカ釣り漁業者を中心とした漁業者グループが佐賀県の複合経営等漁家系改善支援事業を活用して、アカウニの陸上養殖に取り組んでいるところである。

そのアカウニ陸上養殖を実施する上で必要な餌料については、現時点では必要分量を確保できる見込みではあるが、それらを確保できない場合を考慮し、同支所同地区地先での海藻養殖を検討することにした。

そこで、令和3年12月から令和4年4月にかけて、同地区の近隣地先で実施されているコンブ養殖の試験養殖に取り組んだところ、良好な試験結果を得る事ができた為、今年は前年の試験養殖より期間を後に延長し規模も大きくしたコンブ試験養殖を実施することにした。

そして、前年のコンブ試験養殖で得られたデータに、今年の試験養殖で得られる各種データをも合わせて、コンブ養殖区画漁業権免許の取得のための根拠データとするとともに、コンブ本養殖を実施する際の基礎データとする。

住 所 佐賀県唐津市海岸通 7182 番地 233

氏 名 佐賀玄海漁業協同

代表理事組合長 川寄 和正

コンブ養殖試験計画書

佐賀県玄海漁業協同組合呼子町統括支所・呼子地区(以下、呼子地区)の主な漁業種類は、はえ縄漁業・イカ釣り漁業・一本釣り漁業である。

しかしながら、呼子地区においても、漁業を取り巻く環境は年々厳しさを増し、資源の減少、魚価の低迷、後継者不足、漁業者の高齢化など、様々な問題を抱えており、特に、漁業者数と後継者不足は悪化する一方である。

さらに、冬季は時化が多くなり、出漁日数そのものが減少することから、安定した収入確保、収益向上のための方策の検討が喫緊の課題となってきた。

そこで、現在、同支所同地区では漁家収入の改善を図るため、イカ釣り漁業者を中心とした漁業者グループが佐賀県の複合経営等漁家系改善支援事業を活用して、アカウニの陸上養殖に取り組んでいるところである。

そのアカウニ陸上養殖を実施する上で必要な餌料については、現時点では必要十分量を確保できる見込みではあるが、それらを確保できない場合を考慮し、同支所同地区地先での海藻養殖を検討することにした。

そこで、令和3年12月から令和4年4月にかけて、同地区の近隣地先で実施されているコンブ養殖の試験養殖に取り組んだところ、良好な試験結果を得る事ができた為、今年は前年の試験養殖より期間を後に延長し規模も大きくしたコンブ試験養殖を実施することにした。

そして、前年のコンブ試験養殖で得られたデータに、今年の試験養殖で得られる各種データをも合わせて、コンブ養殖区画漁業権免許の取得のための根拠データとするともに、コンブ本養殖を実施する際の基礎データとする。

1. 試験の概要

(1) 実施場所:唐津市呼子町呼子地先(別図1のとおり)

(2) 実施期間:試験養殖の承認日～令和5年6月

(3) 試験内容

a) 概要

ロープ延縄式

b) 養殖施設(別図2のとおり)

・10m×50m=500㎡ 1箇所

・30mの養殖ロープ2本を設置

c) 試験方法

・令和4年12月に養殖施設(錨・ロープ等)の準備

・水温が適水温に成りしだい試験養殖開始(水温16℃以下;適水温13～15℃)

・間引き等の管理を行いながら、養殖可能性を実証

・令和5年6月末 施設撤去

d) 養殖スケジュール

	R4.12月	12月	R5.1月	2月	3月	4月	5月	6月末
作業内容	養殖施設 準備	→試験養殖→ 開始		間引き等の管理				→片付け

2. 安全対策

施設の維持管理については、佐賀県玄海漁業協同組合呼子町統括支所が適切に管理を行う。

3. その他

(緊急時の措置)

台風の接近などになり災害が起こる可能性が懸念される場合は、養殖施設の補強、撤去などの措置を速やかに行うこととする。

また、万一本試験養殖に起因する事故・トラブル等が発生した場合は、当支所で責任を持って対応することとする。

○ 緊急時の連絡先

佐賀玄海漁業協同組合呼子町統括支所 0955-82-1717

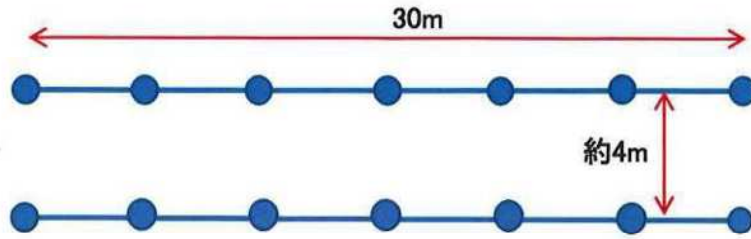
別図 1

試験養殖区画位置区域図

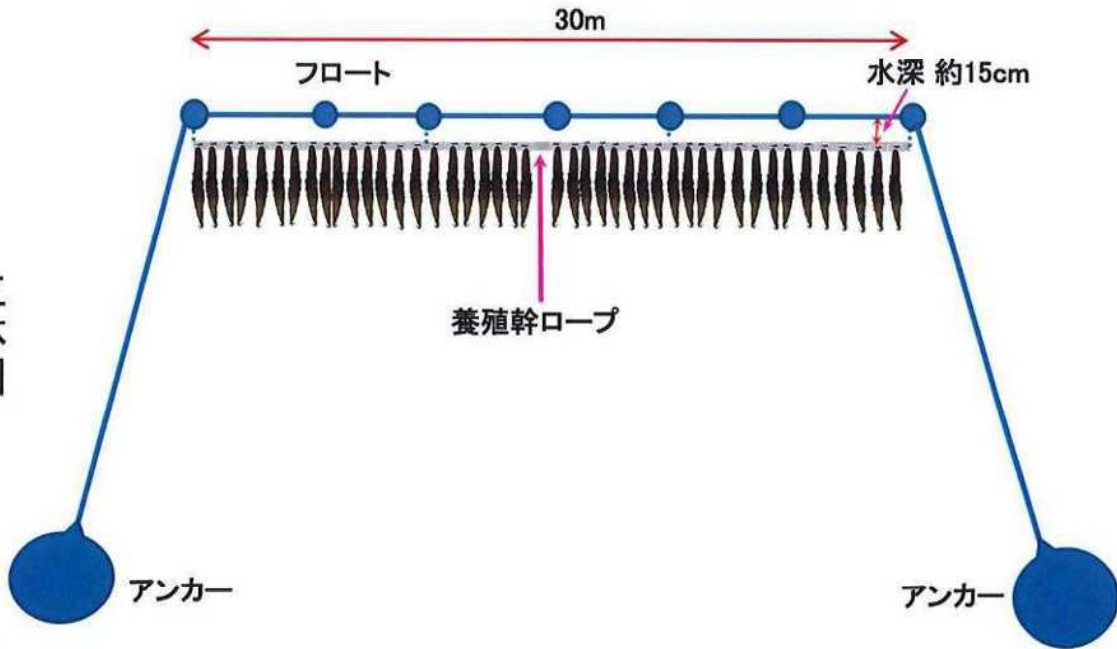


別図2

平面図



立体図



養殖施設概要図

令和4年コンブ試験養殖業務委託契約書

令和4年試験養殖業務の委託について、唐津市（以下「甲」という。）と佐賀玄海漁業協同組合（以下「乙」という。）との間に、次のとおり契約を締結する。

（目的）

第1条 甲は、コンブの試験養殖業務（以下「委託業務」という。）を乙に委託し、

乙はこれを受託する。

乙は、善良な管理者の注意をもって、委託業務を誠実に履行しなければならない。

（委託業務の内容）

第2条 乙が行う委託業務の内容は、別紙試験養殖計画のとおりとする。

2 委託業務の履行に必要な手続きは、乙が行う。

（状況報告）

第3条 甲は、委託業務の状況について、随時報告を求めることができる。

（委託期間）

第4条 業務の委託期間は、試験養殖の承認日から令和5年6月30日までとする。

（費用負担）

第5条 委託業務の履行に関し、必要な費用は、全て乙の負担とする。

（成果）

第6条 委託業務の履行によって得られた成果は、全て乙に帰属する。

（契約の解除等）

第7条 甲は、乙が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、乙に対し委託業務の全部若しくは一部の停止を命じ、甲、乙協議のうえ、この契約の解除又は一部変更を行うことができる。

(1) 乙がこの契約に違反したとき

(2) 乙が委託業務を遂行することが困難であると甲が認めるとき

2 乙は、甲の原因により委託業務の遂行が困難になったときは、甲、乙協議のうえ、この契約の解除又は一部変更を行うことができる。

(損害賠償)

第8条 乙は、委託業務の実施に関し、故意又は過失により甲又は第三者に損害を与えたときは、これを賠償しなければならない。

(契約外事項の処理)

第9条 この契約書に定めのない事項又はこの契約の履行に際し疑義が生じたときは、関係法令の定めによるもののほか、甲、乙協議のうえ決定し処理するものとする。

この契約の成立を証するため、本書2通を作成し、両者記名押印のうえ、各1通を保有する。

令和4年11月15日

甲 唐津市西城内1番1号

唐津市

唐津市長 峰 達

乙 唐津市海岸通7182番地233

佐賀玄海漁業協同組合

代表理事組合長 川 寄

唐 農 水 第 952号
令 和 4年 11月 15日

佐賀県知事 山口 祥義 様

唐津市長 峰 達

試験養殖承認申請について（副申）

本市の水産業の振興に関しましては、日頃からご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、佐賀玄海漁業協同組合（代表理事組合長 川寄和正）から令和4年11月15日付けにて、佐賀玄海漁業組合呼子町統括支所管内におけるコンブ試験養殖の取組みについて、試験養殖承認申請書が提出されました。

この件について、本市の意見を添えて別紙のとおり提出します。

意見書

唐津玄海地域の沿岸漁業の現状は年々厳しさを増し、特に、漁業者の高齢化や担い手、後継者不足等が大きな課題となっています。

また、時化の多い冬期は出漁日数が減少するため、漁業経営における安定した収入の確保及び収益向上のための取組みが求められています。

このような中、佐賀玄海漁業協同組合呼子町統括支所管内のイカ釣り漁業者を中心としたグループでは、アカウニの陸上養殖に取り組まれています。

このアカウニ養殖を成功させるためには、アカウニの餌料である海藻を安定的に確保できることが重要ですが、天然の海藻が十分に確保できないリスクを想定して、アカウニの餌料となるコンブの試験養殖を実施されるものです。

本市としてもアカウニ養殖が軌道に乗れば、安定した漁業収入の確保につながると考えておりますので、今回のコンブ試験養殖につきまして、よろしくお取り計らいいただきますようお願いいたします。

令和4年11月15日

佐賀県知事 山口 祥義 様

唐津市長 峰 達



佐玄水第1291号
令和4年11月18日

松浦海区漁業調整委員会
会長 川崎 和正 様

佐賀県玄海水産振興センター
所長 久野 勝利

松浦海区漁業調整委員会指示第80号の適用除外申請について（依頼）

このことについて、別紙のとおり申請しますので、よろしく願いいたします。

担当：玄海水産振興センター
種苗開発担当 江口

松浦海区漁業調整委員会指示第80号の適用除外申請

令和4年11月18日

松浦海区漁業調整委員会
会長 川崎 和正 様

住所 唐津市唐房6丁目4948-9
氏名 佐賀県玄海水産振興センター
所長 久野 勝利

下記により松浦海区漁業調整委員会指示第80号の適用除外を受けたいので申請します。

記

1. 適用除外の理由

採捕禁止期間（7月1日から12月20日）にムラサキウニを採捕するため。

2. 適用除外の期間

令和4年11月28日から令和4年12月20日までのうち10日程度。

3. 調査の目的及び方法

目的

磯焼けの継続要因となっているムラサキウニの効率的な駆除方法、その効果を検討する。

方法

- ・ 調査は別紙1に示す佐賀県玄海地区高島周辺の松共第3号内において実施する。
- ・ 効率的な駆除方法の検討：簡易潜水器により海中で潰す方法、簡易潜水器により船上に取り上げる方法、素潜りにより海中で潰す方法、素潜りで船上に取り上げる方法について、単位時間当たりの駆除効率について比較検討する。
- ・ 駆除効果：定点を設定し、駆除実施前後で、枠取り調査を行い、ムラサキウニの密度、藻場の被度、藻場の種類を比較し、その効果を明らかにする。

4. 調査に使用する船舶

別紙2のとおり

5. 調査を実施する者の住所及び氏名

佐賀県玄海水産振興センターの職員及び別紙3のとおり

6. 採捕尾数

ムラサキウニ約2,000kg（4万個程度）

7. その他

- ・ 荒天（連続して風速10m/s以上、波高2.5m以上、視程1km以内の状態）が予想される場合は調査を実施せず、また、調査中に荒天が見込まれた場合は直ちに中止します。
- ・ 港則法適用区域での実施については、唐津海上保安部からの作業許可を得たうえで実施します。

別紙1 調査の区域

